



令和元年度 公開審査会報告書

令和元年6月16日（日） 13：30～17：00

高知市南部健康福祉センター 2階大ホール





こうちこどもファンド公開審査会スケジュール



日時：令和元年6月16日（日）13時30分～

会場：高知市南部健康福祉センター 2階大ホール

13:30

こどもファンド公開審査会 開会

13:40～

応募団体による公開プレゼンテーション 開始

応募団体が3分以内で発表し、それに対して審査員が5分以内で質問をします。6団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの6団体の発表が行われます。

15:20～

休憩

休憩時間の間に、こども審査員が一次判断を行います。

15:30～

審査員による公開協議

一次判断の結果について、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員から、もう少し聞きたいことがあるというグループについては、再度、審査員から質問させていただきます。

16:10～

休憩

休憩時間の間に、こども審査員が最終判断を行います。

16:25～

審査結果発表

16:30～

こども審査員からの感想発表

16:40～

審査委員長からの講評

16:50

閉会



【目次】

1 開会	P 1
・開会のあいさつ 高知市副市長 吉岡 章	
・審査員等の紹介	
・審査の流れ、審査に関してひとこと	
2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答	P 4
・発表団体① 旭地区防災食プロジェクト	
・発表団体② 土佐山宣隊 6ネンジャー	
・発表団体③ ふんわりシスターズ	
・発表団体④ 高知とさじゅく広報部	
・発表団体⑤ 太平洋学園コミュニティー協力隊	
・発表団体⑥ Juvenile	
・発表団体⑦ 朝倉中学校生徒会	
・発表団体⑧ おおつつ子	
・発表団体⑨ Co-CREATOR	
・発表団体⑩ 久重 natural チーム	
・発表団体⑪ AOYAGI 地域盛り上げ隊	
・発表団体⑫ Village Jamboree	
3 こども審査員による一次判断	P 31
4 審査員による公開審議	P 32
5 審査結果発表	P 41
・審査結果発表 梶審査委員	
・高知市長 岡崎誠也からの挨拶	
・こども審査員からの感想発表	
・こどもファンドアドバイザー・こども審査員サポーターからの感想発表	
・講評 卯月審査委員長	
・審査結果発表 梶審査委員	
6 資料編（助成金交付要綱・アンケート結果）	P 49



1 開会

開会のあいさつ 高知市市長 岡崎 誠也（副市長 吉岡 章 代読）

本日は令和の新たな時代において初めての開催となります「こうちこどもファンド公開審査会」にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様方には日頃より地域における市民と行政の協働のまちづくりをはじめ、市政全般にわたりまして、多大なご支援・ご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。さて、このこうちこどもファンドは、将来の高知市のまちづくりを担う子どもたちの「自分たちのまちを良くしたい」という想いを実現しようと、平成 24 年度から取り組みを開始し、今年で 8 年目を迎えます。



今年歴史的な皇位継承がとり行なわれ、令和の新たな時代が幕開けしました。令和元年度の応募グループは、久しぶりの 2 桁となる 12 グループになっており、それぞれに工夫を凝らした発表で「絶対に助成をうけて活動するんだ」という意気込みが伝わるプレゼンテーションを期待しております。また、こどもファンドは、子どもたちが主体となって活動を行うことに加え、助成するグループを選ぶ審査も子どもたちが行うことによって、子どもの目線を取り入れられるようにしている点が大きな特徴でございます。今年度は、公募等で選出された小学生 2 名、中学生 4 名、高校生 4 名の合計 10 名のこども審査員さんに審査をしていただきます。このように、子どもたちの取り組みを子どもたちが審査し、行政から助成するという制度は、全国的にみても珍しく、他の市町村からも視察・問い合わせがくることも多い注目度の高い仕組みとなっています。こども審査員の皆様にも、高知市がもっと暮らしやすく楽しいまちになるよう、審査をよろしく願いいたします。さらに、こどもファンドを利用した子どもたちが直接行うまちづくり活動は、世代を超えた繋がりとなり、住民同士の交流がうまれるとともに、「自分たちでまちをつくる、支えている」という意識を子供の頃から育むことができると考えています。

現在、高知市をはじめ、全国でも少子高齢化や人口減少は進行しており、地域における繋がり希薄化に加え、介護と育児を同時に受け持つダブルケアや、高齢の親世代と単身の子供が同居し困窮する 8050 問題など、多様な福祉問題が静かに広がっています。こうした問題が深刻になると、地域そのものの維持が困難になってしまうことも考えられますので、高知市では地域の関係団体・事業者・住民・行政等がそれぞれの役割を果たしながら繋がりを持ち、みんなでみんなを支えあう「地域共生社会の実現」をめざした取り組みを行っていくこととしております。令和の新たな時代におきましても、将来にわたって地域に根ざした活動を続けていくためには、子どもから高齢者まで地域の皆様のお力が必要となりますので、市民の皆様と行政の協働のもとで取り組んでいけるよう、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、応募団体の子どもの一生懸命のアピールと、こども審査員の皆さんの激励のこもった審査を楽しみにしております。結びに、本日お集まりいただきました皆さんの益々のご活躍を祈念いたします。

審査員等の紹介

【こども審査員（10名）】

古谷 愛夏（旭小学校5年）、前田 桔平（秦小学校6年）、増田 光祥（高知中学校1年）、水沼 阿望（城北中学校3年）、西森 菜央（城北中学校3年）、戸田 凜（城北中学校3年）、宇賀 みくも（北高校1年）、森本 向日葵（丸の内高校1年）、田部 祥一郎（嶺北高校1年）、吉本 怜（北高校3年）

【大人審査委員（6名）】

審査委員長・卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）、梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）、尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）、山本 正篤（市教育長）、谷脇 禎哉（市市民協働部長）、山川 瑞代（市こども未来部長）

※審査副委員長の吉門 文恵氏（株式会社ケンジン代表取締役社長）は、審査会当日は欠席。

【サポート役（2名）】

こども審査員サポーター 宮田 純子（市教育委員会学校教育課 指導主事）、
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

【協力】

NPO法人要約筆記高知・やまもも（要約筆記）

審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、各応募団体が公開によるプレゼンテーションを行います。(持ち時間は3分間)
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。(5分間)
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員10名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、「助成をするかしないか」について、こども審査員と大人審査委員が公開で審議を行います。また、「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対しては、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員10名が、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数、6名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。

審査に関してひとこと

【森本委員から】

今年度は審査員全員で話し合っ、審査ポイントを3つ決めました。

- ①持続性がある、活動の見通しがあるか
- ②子どもたちが中心となって、楽しんで自主的に活動できるか
- ③ 地域のためになる工夫がある活動か

そしてこの3つのポイントを踏まえて、「最終的に誰かが喜んでくれる活動か」という点で、判断させていただきます。緊張や不安がある子もいると思いますが、全力でやる気・熱意をみせてもらいたいと思います。今日はどうぞよろしくお願いいたします。



2 応募団体によるプレゼンテーション・質疑応答

発表団体① 旭地区防災食プロジェクト （活動テーマ：地域みんなの命と食を守るんジャー）

【動画を使ったプレゼンテーション】



こんにちは、旭地区防災食プロジェクトです。このプロジェクトは、私たち高知市立旭小学校の子どもが中心となり、地域の人と協力して防災食を作る活動をしています。南海トラフ地震は必ず来ます。いつ来るかどうかは、誰にも分かりません。でも、日頃から準備や心構えをすることは、いつでも誰でもできます。

私たちは、さつまいもなどの防災食を作って蓄えています。そして、いざという時に防災食を役立てる方法を学んでいます。今年は、これまで作ったことのない野菜を作ることに挑戦します。野菜を加工して、保存する方法も勉強します。プロジェクトの活動には、友達をたくさん呼びたいです。オリジナルグッズを作って、興味を持ってもらおうと思っています。防災ナップサックを作って、中に入れるものをみんなで考えます。活動の時に持ち寄るようにしたいと思います。

今年の3月には、サバイバルキャンプをやりました。学校での宿泊体験はドキドキしました。段ボールを使って、みんなが過ごす場所や寝るスペースを作りました。メンバーや友達と一緒にだったので、怖くありませんでした。「またやりたい」「参加したい」という声が多かったので、次は夏に計画しています。

活動してもらうための防災新聞を作って、地域に配布する予定です。防災地図を作る準備も始めています。家の近所から旭小までを探検して、危険そうな場所や防災に関係する物を見つけて、地図に載せたいです。私たちは、「子どもにできる防災で、地域の人と人を繋ぐ活動」をしていきます。そして、地震が起きた時は、活動の時と同じように助け合います。

(せーの)「人と人を繋ぐ旭地区防災食プロジェクト」、応援をよろしくお願いします。

【質疑応答】

古谷委員

申請書に書いてある活動内容について、9月に「ほかの地域の防災活動に参加する」と書いてありますが、具体的な地区やイベントなどは決まっていますか？

旭地区防災食プロジェクト

まだ決まっていません。

吉本委員

申請書の自由記入欄に「畑の野菜を加工して保存したり」と書いてあります。この保存というのは「保存食」のことだと思いますが、色々な野菜がある中で、どのような保存食を作りたいと思っていますか？

旭地区防災食プロジェクト

まだ決まっていません。

森本委員

申請書の活動目標の欄に「オリジナルグッズを作って、たくさんの方がプロジェクトに興味を持つようにしたい」と書いてありますが、具体的にどのようなグッズを作りたいと考えていますか？

旭地区防災食プロジェクト

マグカップとキーホルダーを作りたいです。

宇賀委員

申請書に「防災バックを作り、その中に防災グッズを入れて参加する」と書いてありますが、防災グッズの中身にどんな物を入れたいか、教えていただきたいです。

旭地区防災食プロジェクト

ホイッスル・マスク・ライター・筆記用具・絆創膏などです。

【模造紙を貼り付けたパネルを使ったプレゼンテーション】



「いくぞー、土佐山宣隊6ネンジャー。Welcome to 土佐山 おすすめスポット大作戦。」

これから私たちのプレゼンテーションを始めていきたいと思います。まず、土佐山の課題についてです。このグラフを見てください。土佐山の人口973人中、約40%をお年寄りが占めています。子供の数は見ていただいた通り、とても少ないことがわかります。

次に、このグラフを見てください。土佐山の人口は、年々減っていることがわかります。このままでは、私たちのふるさとがなくなってしまうかもしれません。土佐山を元気にする力が必要なんです。ところが、この看板を見てください。この看板は、土佐山に入るトンネルを抜ける所に設置されています。この場所はカーブになっていて、車で時速50キロくらいで通り過ぎる場所です。しかも古くなっています。まだこんな看板があるんです。だから、もっと分かりやすい看板にリニューアルしたいと思いました。そのリニューアルした看板を見て、ゴトゴト石や山姥の滝などの名所に行ってもらいたいです。また来たいと思えるような土佐山をめざしています。

この表を見てください。これは1年間の活動内容です。6月には土佐山地域を回り、おすすめの場所を決めます。7月には、看板のキャッチフレーズを考えます。10月には、看板のデザインを考えます。11月には、地域の方々に意見を聞き、修正をします。12月には、看板を設置し、地域の方々にお披露目会をしたいと思っています。皆さんもぜひ来てください。そして、2月には土佐山学発表会で保護者や地域の方々に報告します。この看板をみた人に「また来たい」と思ってもらえるようにしたいです。

私たちがなってほしい土佐山の未来は「人が増えて賑やかな土佐山」。私たちは、人が増え、お年寄りから子供まで、仲良く・楽しく・賑やかに過ごせる土佐山にしたいと思っています。そのためにも

地域の方と協力して、土佐山を元気にしていきたいです。僕たちの看板作りに、是非ご協力ください。

そして、私たちが描いた未来と一緒に見ていただけませんか。よろしくお願いします。土佐山宣隊 6 ネンジャー。

【質疑応答】

前田委員

申請書に「12月に看板を設置して、地域の方々にお披露目会をする」と書いていますが、そのお披露目会というのは具体的にどのような物か決まっていますか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

お披露目会では、ある場所に看板を設置して、それを地域の方々に披露したいと思っています。

西森委員

申請書の活動内容には、8月・9月に予定が書かれていませんが、何か活動はする予定ですか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

8月は夏休み、9月は運動会で忙しくなってしまうので、時間ができれば活動したいと思っています。

戸田委員

看板を設置する場所は、具体的に決まっていますか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

看板の設置場所は、BAL という土佐山の直売所に設置したいと思っています。

田部委員

人を集めるということは難しいと思うんですが、地域の方々に看板のお披露目会をする際、どのような方法で地域の方々を集めようと思っていますか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

土佐山の公民館にたくさんの地域の方々が集まるので、その公民館にポスターなどを貼って呼び掛けをしたいと思っています。

森本委員

看板は一箇所しか設置しないのでしょうか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

設置場所は BAL 以外にも、今看板がある場所に新しく設置したり、他の土佐山に行く道などにも設置したいと考えています。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは、私たちはふんわりシスターズです。私たちは、こうちこどもファンドを通じて、高知市の小さな商店街のパンフレットを作ることで、高知を活性化したいと思っています。私たちがそう思った理由を説明します。地域を活性化すると、地域全体の利益になります。例えば、高知県で今、問題になっている、少子高齢化を止めることにも繋がります。

しかし、私たちが地域を活性化したい一番の理由は、「大好きな高知県を知ってほしい」ということです。皆さんは高知県が好きですか？地域の魅力を発信する事で、たくさんの方が訪れてくれれば、それによって地域が活性化され、賑やかになります。そして、たくさんの人々が訪れるより良いサイクルを作る事ができます。このことから、「高知市の魅力を伝える」ことを具体的な目標にして、活動していこうと考えました。身近な高知市の魅力を考えて時に思い付いたのが、商店街の活性化でした。

皆さんは、今の商店街の状況を知っていますか？私たちが実際に商店街に行った時に、はりまや橋商店街などの小さな商店街には、あまり観光客が少ないということが分かりました。はりまや橋商店街は、帯屋町という高知の中でも大きな商店街に近いにも関わらず、観光客と思われる人が少なく、私たちはとても驚きました。

地域の活性化として、観光地を盛り上げる活動は見られますが、それでは有名な観光地しか活性化されていないので、地域の活性化に繋がっていないと思いますし、大きな商店街だけでなく、小さな商店街にも高知ならではの人の温かさや風情があると思います。そんな高知独特の雰囲気を、訪れた人々に感じてもらいたいと考えました。

そのために考えた具体的な活動は、パンフレット作りで商店街の魅力を伝えることです。活動内容は、高知市にある商店街のパンフレットを作り、たくさんの方が行き来する駅に設置することです。

駅に来て、パンフレットを見てくれた人が、商店街に足を止めてくれるかもしれません。このような小さい事がたくさん繰り返されていけば、きっと、今より商店街が盛り上がると思います。そこで、高知市ならではの温もりに触れてもらえれば、いろんな人が高知を好きになってくれるのではないのでしょうか。高知市を活性化させるための第一歩として、ぜひ、こうちこどもファンドで活動させてもらえたらと思います。ご清聴、ありがとうございました。

【質疑応答】

前田委員

申請書の活動目標に、「高知市の商店街を紹介するためのパンフレットを作って JR の駅に設置したり、SNS で発信したい」と書いてありますが、アカウントは誰の物を使うんでしょうか？

ふんわりシスターズ

新しく私たちが活動するためのアカウントを作って、ツイッターなどで発信したいと思っています。できれば、活動内容などを SNS を通じて発信したいです。

水沼委員

「高知の魅力をまとめたパンフレットの作成」について、商店街のどのような魅力をまとめようと思っていますか？

ふんわりシスターズ

商店街にあるお店の良いところや人の優しさなどをまとめて、パンフレットに反映させたいです。

増田委員

申請書の活動計画には「はりまや橋商店街」が出てきています。高知市には、ほかにも商店街があると思うんですけど、ほかの商店街には行かないんでしょうか？

ふんわりシスターズ

夏休みに、はりまや橋商店街のほかにも様々な商店街に行って、実際に調査したいと考えています。

吉本委員

申請書の活動内容に「パンフレットを JR に設置する」と書いてありますが、駅に設置しただけで 1500 枚のパンフレットを配布するというのはなかなか厳しいと思います。例えば、駅の前で歩いている人に配ったりということは考えていますか？

ふんわりシスターズ

今のところ、駅に設置することしか考えていなかったのですが、厳しいということがあったら駅前で配布したり、人の多い場所で配布することも考えたいと思います。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さん、こんにちは。私たちは「高知とさじゅく広報部」です。よろしくお願いします。

私たちは皆さんの活動を動画にまとめて、インターネットを通して、世界に発信していきたいと思っています。まずはこの表を見てください。これは毎年発表される、都道府県魅力度ランキングです。この都道府県魅力度ランキングは、その都道府県の魅力度・認知度・イメージを数値化し、ランキング化したものです。高知県はというと、去年は32位でした。ポイントでいうと、北海道・京都・東京と約4倍の差があります。なぜこんなにパツとしないランキングになってしまうのでしょうか？高知に魅力がないという訳ではないですよね。「あっ、そうだ！高知の魅力が伝わってないんだ！」という考えに、私たちは至ったわけです。これからその活動内容について話していきます。

それでは、私たちの活動内容を具体的に説明します。

まず、私たちはこうちこどもファンドで活躍する皆さんの所へ行き、インタビューしたり、動画を撮ったりして、取材をさせていただきます。そして、取材した内容をまとめて動画にします。もし動画が出来たら、取材させていただいた皆さんに確認してもらう予定です。出来上がった動画には英語字幕をつけ、You Tubeなどに投稿し、世界中の人に見てもらえるようにします。日本中・世界中の人々に高知の魅力を知ってもらい、「高知に行ってみたい」「高知のことを応援したい」と、思ってもらうことが私たちの最終目標です。

次に、なぜ動画にするのかについて説明します。動画は気軽に見てもらえることができ、You Tubeなどを通じて世界に発信しやすいことが、私たちが動画を作ろうと思った理由です。また、動画の性質上、写真や音声、文字があり、高知の魅力を分かりやすく表現しやすいと考えました。

最後に、なぜこの活動を取材しようと思ったかを説明します。私たちは動画を作るにあたって、ただ高知の食べ物や観光地に行っ

「こうちこどもファンドの皆さんの活動」を取材する方が、高知の人の魅力を伝えることができると思ったので、この活動を取材しようと思いました。よろしくお願いします。

【質疑応答】

吉本委員

「動画を作って You Tube に投稿する」と仰られていましたが、例えば「動画の再生数の目標値」があれば教えてください。

高知とさじゅく広報部

まだ今のところありません。

増田委員

申請書の自由記入欄に「英語バージョンの動画を作る」書いています。日本語を英語に訳すということは難しいと思いますが、どのように英語へ訳すのでしょうか？

高知とさじゅく広報部

小学校の時にカナダに住んでいたメンバーがいるので、そのメンバーに手伝ってもらおう予定です。

田部委員

You Tube にはたくさん動画があり、動画の存在が知られにくいと思うのですが、作った動画を知ってもらうためにどのような工夫をされる予定ですか？

高知とさじゅく広報部

高知県のホームページに載せてもらうことはできないか、と考えています。

西森委員

申請書に「DVD の作成」と書いてありますが、DVD の配布はどのようにするのか決まっていますか？

高知とさじゅく広報部

今のところ決まっていません。

古谷委員

申請書に「撮影したものに高知のその他の情報を盛り込む」とありますが、こういった情報ですか？

高知とさじゅく広報部

はりまや橋やひろめ市場などの観光地であったり、食べ物などを盛り込んでいこうと思っています。

森本委員

申請書の支出内容欄を読むと、「動画作成等の知識を付けるために講師を呼ぶ」と思いますが、誰を呼ぶのか決まっていますか？

高知とさじゅく広報部

僕たちは美術の先生に手伝ってもらおう予定なんですが、その美術の先生が映像関係の人と知り合いだそうで、その人に教えてもらう予定です。

卯月委員長

今年度はいくつの活動を動画にしようと考えていますか？

高知とさじゅく広報部

できれば、全部の団体を動画にしたいと思っています。

卯月委員長

では、全グループへ助成が決定すれば、自分たちのグループを除く 11 グループを動画にするということでしょうか？

高知とさじゅく広報部

はい。

宇賀委員

作成した動画はどのくらいの年齢の方に見てもらいたいですか？

高知とさじゅく広報部

子どもはもちろん、大人やいろいろな世代の人に見てもらいたいです。

発表団体⑤ 太平洋学園コミュニティー協力隊

(活動テーマ：学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ～自分たちで行う防災～)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さんこんにちは。私たち太平洋学園コミュニティー協力隊は、「学校と町内の皆さんとともに、より安全に安心して楽しく暮らせる、災害にも強いまちにする」ことを目標に、日常的に協力活動を展開し、地域の絆を深め、福祉・防災の両面でまちづくりに貢献する事を目的に発足しました。

始めにこれまでの活動を紹介します。2017年には、熊本地震の被災地へ視察に伺いました。また、グッズを作成し、防災啓発活動を継続的に行っています。ほかにも、避難所生活を想定した防災キャンプを、本校体育館で行いました。

今年度は、近隣地域の住民の声を聞いて地域の実情を知ること、これまでの活動をさらに発展させ、「自ら行動する防災」を学校・地域に広めていく、ということ活動を活動目標にしています。これまでの活動で得た経験・知識を、地域で活かしていくことが出来ればと考えています。

こちらが年間の活動予定です。今年度初めて取り組むポスター作成、フィールドワークに加えて、一昨年度から行っている公民館での発表について説明します。ポスターは、フィールドワークで得た情報を基にして、屋外でも劣化しにくい特殊な加工で印刷し、地域住民に見てもらいたいと考えています。フィールドワークは、本校近隣地区、特に愛宕商店街を中心に行います。愛宕商店街振興会とは、一昨年度に本校の事業内で提携が始まりました。既に高知県立大学がお祭りを開催するなど、多方面での連携があったようです。今年はイベントに参加したり、個別に話を聞くなど、深い関わりをしていきたいと思っています。また例年どおり2月頃に、公民館で住民の方への報告を行います。

これらの防災・減災に対する各活動計画を通して、自分から動き繋がることで、私たち自身も成長しながら、まち全体の地域力・防災力を向上させます。最後まで熱心にお聞きいただきまして、ありがとうございます。

【質疑応答】

森本委員

今年で3回目の助成申請になりますが、来年の活動をどうするか考えていますか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

今ステージに上がっているメンバーは3年生が2人、2年生が2人なのですが、継続できれば来年以降も活動を続けていきたいと考えています。

前田委員

ポスターについてですが、掲示場所をどこにするかは決まっていますか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

学校内のほかに、たくさんの人に見てもらいやすい公民館の掲示板に掲示してもらいたいです。ほかにも地域内で貼れるところがあれば、掲示させていただきたいと考えています。

西森委員

昨年度、学校の体育館での「防災キャンプを行いました」と書かれてありますが、具体的にどんな人がその体験に参加されましたか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

昨年は、大学教授を招いて避難所で生活する上での課題を教えていただいたり、地域の方々と交流をしたりしました。また、防災食・防災グッズのことを防災の専門家に教えていただき、その後は体育館で一泊することで避難所生活を体験しました。

吉本委員

フィールドワークで聞き取りやアンケート調査をやっていくと思いますが、これは地域が抱える課題を知りたいのか、地域の方の防災に関する意識を知りたいのか、どちらでしょうか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

津波や災害のことはもちろん、商店街の状況など、色々なことを聞いていきたいと思っています。

増田委員

活動内容の7月の欄に「江ノ口防災まつり」と書かれていますが、このイベントにはどのような活動で参加されるのでしょうか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

江ノ口防災まつりでは、防災活動の説明や防災グッズなどの配布ができたらいいなと考えています。

宇賀委員

昨年に引き続き今年も防災キャンプをやるということですが、昨年の反省で今年に活かしたい内容があれば教えてください。

太平洋学園コミュニティー協力隊

昨年はいろいろな体験をしましたが、今年は違う種類の防災食を作って食べてみたいです。また、もう少し寝やすくなる工夫をして、過ごしやすい空間を作ることができたらいいなと思っています。

戸田委員

「地域に根づいた活動を展開していく」という目標について、具体的にどのような活動をしたいと思っていますか？

太平洋学園コミュニティー協力隊

将来きっと地震などの大きな災害が起きてしまうので、その時にちゃんと地域の方と連携できるような活動をしていきたいです。また、災害が起こった時に私たちができることをちゃんと想像しながら、今後の活動をしていきたいと思っています。来年以降にも、活動を継続していけるようにしたいと思っています。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



「ここは法廷です。今回の議題は、チーム Juvenile における、『Let's ほこほこ交流会』の議論についてじゃ。」

「僕たちは『こうちこどもファンドに参加して交流会を実施しよう！』という計画を立てていたのですが、なかなか話し合いが進まないんです。交流会をすれば、地域の人達に『地域内での繋がりを持つことの大切さ』を分かってもらえると思っています。さらに、他の人と一緒に協力して活動を行うことで、その人のことがめっちゃめっちゃ記憶に残りますよね。」

「被告人の答弁に異議あり！でござる。交流会の内容も、実施する場所も決まっていない状態で、そのような戦略を立てるのは無謀でござる。」

「このような流れで、話し合いがまったく進まんじゃ。それならば、アドバイザーの方とディスカッションしてみるのはいかがでしょうか。ということで、アドバイザーの方と相談をしてきたのじゃ。」

「Me (私) たちの目的がはっきりしましたね。地域の方たちに、繋がることへの関心を持って欲しいもんね。」

「異議あり！でござる。地域とはどこのことござるか？公民館や学校の周辺でござるか？それとも、高知市内の全域にござるか？」

「どうやら地域をどこにするか決める必要があるみたいじゃな。」

「それならば、高知国際ジュニアハイスクールで交流会をしたらどうですか？」

「確かに、僕たちは地域の人と交流する機会があんまりないですものね。これを機に、地域の人と繋がりを持てたらいいね。」

「それは良き案でござるな。しかし、されど多くの者にきてもらえるよう、職業や年齢は制限しな

いほうがいいでござる。」

「フム、それに参加したいと思える内容の検討や、手伝ってくれそうな方を探しておいたほうがいいのじゃ。」

「そうでござるな。ふれあいセンターに行けば、たくさんの組織と繋がっていきそうでござるよ。」

「アドバイスや協力してくれそうな people（人々）の紹介、交流会で知ってほしいことも teach して（教えて）もらえそうですね。交流会で何を開催するかは、First（まず）交流をメインとして交流会に慣れてもらいましょう。Second（次に）、防災をメインとして、深く地域の繋がりに関心をもってもらい、同時に地震についての知識も深めてもらいましょう。」

「僕たちはこのような交流を行いたいと考えています。けれど、交流会のためにはたくさんの経費が必要でござる。どうか、地域の交流を深めるために、よろしくお願いします。」

【質疑応答】

前田委員

申請書の活動内容の欄に「市民の人たちが地域の繋がりに対して、どのような意識を持っているかその現状をアンケート調査する」と書いてありますが、どのような方法でアンケート調査をする予定ですか？

Juvenile

交流会の時にあらかじめアンケート用紙を渡しておいて終了後に回収し、結果を確認したいと思っています。

吉本委員

1回目の交流会では「人との関わり合いに慣れてもらう」と書いていますが、例えばゲームをしたり、料理を作ったりなど、どういう事をしたいというのが決まっていれば教えてください。

Juvenile

私たちは「昔あそび」を企画してますが、さまざまな人に話を聞いて、「こういう活動をしたらいいんじゃないか」という意見があれば、それを取り入れて交流会の内容にしたいと思っています。

水沼委員

周辺の地域のたくさんの方々に交流会へ来てもらうために、どうやって呼び掛ける予定ですか？

Juvenile

学校周辺の朝倉・鴨田地域へポスターを貼ったり、チラシを配ったりして宣伝したいです。

発表団体⑦ 朝倉中学校生徒会

(活動テーマ：人に優しい笑顔あふれるまちづくり～ASAKURA～)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



活動のきっかけは、昨年度、朝倉中学校の目の前にある忠霊塔ボランティア清掃で地域の人が喜んでくれたことや、本年より生徒会一丸で取り組んでいる無施錠撲滅運動でその取り組みを大きく評価されたことでした。それは朝倉中学校や朝倉地域を良くしたいという思いでした。

では、「一体どうしたらいいのだろうか?」「何かを始めても打ち上げ花火的では、その時だけで決して良くならない!」そのようなことを考えているうちに、今までの自分たちの取り組みを思い出しました。本校は現在施錠率が97%以上ですが、昨年度の40%から脱却するために様々な取り組みをしてきました。「そうだ!まずは種まきを試みよう」とそこで考えました。

そして第一弾としては、地域と朝倉中学校を繋げようと思いました。つまり、今を考えながら、未来の種まきを同時並行に行えばいいのではないかと考えました。そこで、今必要なものを整理した結果、朝倉中学校を身近に地域に感じてもらうために、朝倉中学校最大の難関である「夜になると真っ暗で寂しくなる通学路」をLEDライトでおもてなしや誘導灯代わりに。日中は花を植え、年中心を和ます坂道に。そして、未来への種まきのために、みんなが明るく前を向けるようにするために、コミュニケーションに必要な言葉や考え方の強化を、学校や地域の福祉施設でこのようなことに取り組むたいと思いました。

スクリーンを見てください。これは朝倉中の入口の写真ですが、昼と夜の様子です。冬場はもちろんですが、朝倉中は山に囲まれているため、夜は真っ暗で怖いです。脇には民家もあるのですが、それすらも見えづらいです。なので、LEDライトが避難時などの誘導灯代わりになれば、下校の生徒のみでなく、地域の人にとっても身近なものになるのではないのでしょうか。また異年齢と話をするのに

一緒に笑えるものとして、カードゲームの準備がしたいです。そればかりではありません。ボランティア清掃の時だけ会うのではなく、一緒に笑えるレクリエーションで健康に身体づくりを！特別支援学級とコラボし、花の苗等をひとり暮らしの方へプレゼント。危機管理啓発・共同社会への第一歩へ。

さらに、地域回覧掲示板(看板)設置で地域とつながり、朝倉中学校を拠点として地域を繋ぐ。小学校や保育園でレクリエーション(カードゲームやエアボール等)を通じて、中学生が身近で頼りになる事を知ってもらう。このようなバトンを繋ぐことを行っていきたいと考えています。

僕たちは日頃から校内・校外で様々なボランティア活動を行ってきました。最後に、今年の活動を第一弾として、色々な人や組織と繋がり、第二弾・第三弾と繋いでいくことで、自然に朝倉の人々を繋いだり、「まちづくりの参画へ人々を繋ぎたい！」という強い思いを持って、このこどもファンドに応募しました。ぜひ、よろしくお願い致します。

【質疑応答】

森本委員

イルミネーションは来年以降も続ける予定ですか？

朝倉中学校生徒会

冬の間は続けたいと思っています。

古谷委員

通学路などにも、イルミネーションを設置するのでしょうか？

朝倉中学校生徒会

今年は、学校入口の坂のみを飾り付ける予定です。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



おおつつ子は昨年度「防災」という観点から、地域と繋がる取り組みを行いましたよね？でも、僕はまだまだ大津には課題があると思うんです。じゃあ、どんな課題があると思う？僕は2つの課題を考えました。

1つ目は、街灯がなく暗い場所が多いため、不審者が多いことです。例えば、学校から遠い所や人気の少ない鹿兎神社のような所があるよね。それに、去年は部活動が中止になってしまうなど、僕たちが安全に学校生活を送れなくなってしまう事もありましたよね。そうだったね！あと、大津は昔から不審者が多いと言われているよね。

2つ目は、アルミ缶回収などで地域との繋がりはあるものの、それがまだ一部の方としか繋がっていないのではないか、ということです。確かに、地域全体と繋がるとは言えないから、もっと多くの人と繋がりたいよね。ということで、私たちの今年の活動としては、安全な生活を送れるように、「防犯」を大きな柱として、一人でも多くの方に知っていただけるような次の取り組みをしていこうと考えています。

1つ目の取り組みは、看板の設置です。この看板には、不審者が多いというような注意喚起や、防犯に関する知識などを書こうと考えています。この活動は、防犯への意識を高めることを目的としています。

2つ目の取り組みは、「防犯劇」です。劇の中には、大津地区で不審者が多い所や、街灯が少ない所を具体的に入れることを考えています。そのために、8月に大津中学校で開催される大津祭りで、アンケートも実施します。この活動は、地域に知識を広めることを目的としています。

3つ目の取り組みは、防犯冊子づくりです。看板設置や防犯劇の活動の中で学んだことを、1冊の

冊子にまとめ、それを地域の方々に愛校作業などを通して配布することで、防犯への知識や意識を高めたいと考えています。

私たちおおつつ子は、「防犯への意識が高い大津地区」をめざして頑張ります。応援よろしくお願ひします。

【質疑応答】

古谷委員

看板のデザインをどうするかなどは決まっていますか？

おおつつ子

看板のデザインについては、大津中の生徒や地域の方々から募集するといったことを考えていますが、具体的にはまだ決まっていません。

田部委員

「地域との関わりが一部としかない」と言っていましたが、地域全体と関わりを持つためにこういう風な活動をしたいというのはありますか？

おおつつ子

昨年度より劇を披露する場を多く準備したり、去年まで関わりを持っていない地域に冊子を配布したりしたいです。

西森委員

防犯の冊子は、地域の人にも配布するんですか？

おおつつ子

普段生徒会として行っている活動の中などで配布したいと考えています。

森本委員

防犯を呼びかける看板を作るという事ですが、その看板は生徒がよく集まる場所に設置するのか、それとも危ない不審者がでるような場所に設置するのか、どちらでしょうか？

おおつつ子

何もない場所に設置するという事は難しいので、現在各地区にある掲示板の周辺などに設置させてもらいたいと考えています。

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



こんにちは、Co-CREATORです。僕たちは十津小学校の卒業生です。地域のために何かできればと思い、集まりました。

望海ヶ丘は高知市池にある団地で、開発分譲され始めて16年経ち、現在は340世帯が暮らしています。十津小学校の児童の半数がこの団地の子どもたちです。大人はここに引っ越してきた人ばかりですが、子どもはここで育った人が多いと思います。きっと、僕たちのほうが楽しい場所や危ない場所も知っていると思います。大人に守ってきてもらって成長した僕たちにも、大人の行動に対して、「もっとこんなことをしたらいいのに」「こんなことはやめたらいいのに」と思うようになりました。なぜなら、大人の行動にも、結構危なかったり、人に迷惑を掛けてしまっているものもあるからです。

例えば、ながらスマホや信号無視、タバコのポイ捨てなどです。僕たちの気づきや発見が、地域に活かせる仕組みを作れば面白いと思っています。そういった仕組みを作っていくためには、大人との協力が欠かせません。まず、地域の困り事の役に立ち、成果を共有していこうと思います。なので、まずは町内会と意見交換をしていき、団地で活動を共有して、活動に参加してくれる人を集めようと思います。

具体的には、ゴミ拾いを定期的に行って、ゴミについての情報を集めます。主に公園や道端にたくさんゴミが落ちていました。プラスチックゴミは、自然には分解されません。海洋生物に影響がでています。ゴミは、雨や風に流されて、海に流れていくかもしれない。そういった事を大人たちに知ってもらいたいです。

最近、高齢者による事故のニュースが増えたと思いませんか。子どもたちがいる地域では事故を起こさせたくありません。しかし、僕たちの団地の近くにはスーパーもコンビニもありません。だか

ら、車を活用していく必要があります。でも、このままだと車による事故が起こるかもしれません。知ってもらうことを始めるには時間がかかります。僕らも他の子たちも成長していきます。この活動をどんどん広げ、コミュニティを増やし、地域活性化に繋げようと思います。

僕たちのチーム名である「Co-CREATOR」は共同制作者を意味しています。なので、僕たちのこの活動に地域の人々を巻き込んで、みんなで協働してまちづくりをしていこうと思います。以上です。ご清聴ありがとうございました。

【質疑応答】

前田委員

申請書の活動内容の欄に「他の地域の人々に報告する」と書いてありますが、どこの地域の方に報告するか決まっていますか？

Co-CREATOR

近くの十津・三里地域に情報を発信していこうと思っています。

田部委員

申請書の活動内容の欄に「カーブミラー設置」と書いてあります。なかなか自分たちでカーブミラーを設置するのは難しいと思うんですが、その辺りはどうされるんでしょうか？

Co-CREATOR

できるかどうか分かりませんが、町内会と協力し、町内会の方々にカーブミラーを設置してもらいたいと考えています。

梶委員

ゴミ拾いの活動やカーブミラー設置は、予算書の金額のところに書かれていないですけど、それは別で用意するのですか？

Co-CREATOR

予算書の消耗品費をそれに充てていこうと思っています。

谷脇委員

今はメンバーが3人ですが、例えば団地内の子供たちにゴミ拾いの声掛けをするなど、そういったことは考えていますか？

Co-CREATOR

はい、考えています。他に大人たちにも呼びかけて、どんどん広げていこうと考えています。

卯月委員長

この望海ヶ丘団地は、子ども目線で見ると「ちょっと危ないところがある」とか、「ちょっとあまりキレイじゃない所がある」とか、そういった問題意識があるんでしょうか？

Co-CREATOR

小学生のころの通学時や、最近団地を歩いている時にゴミの状況を見ているんですが、課題があるなという意識があります。

発表団体⑩ 久重 natural チーム （活動テーマ：空と大地の恵み豊かな久重の魅力を多くの人に伝えよう～星空観測と保存食でまちを元気に！～）

【模造紙を使ったプレゼンテーション】



これから、久重 natural チームの発表を始めます。

久重地域がどこにあるか知っていますか。高知市北山にある久重地域は、空が近く、そして豊かな場所です。今年はどんな活動にする？あれもしたい、これもしたい。じゃあ、星空観測と保存食にしよう。

星空チームでは、どうして星空にしたの？久重で星をみたらキレイだから。夜の活動をみんなでしたいから。星が好きだから。望遠鏡を作って、みんなで星を見たいから。星空観測会もしたいね。

保存食チームはどうして保存食にしたの？保存食にした理由は、去年、有用植物について学んだ時に、保存食を作れないかなあと思ったからです。久重地域には、去年は学べなかった有用植物がまだまだあります。それらを保存食にしたら、一年中、有用植物が食べられると思いました。また、災害時に非常食として役立つと思いました。地域に生えている、よもぎやどくだみなどを乾燥して、お茶やクッキーを作りたい。梅をとって、梅干しや梅ジュースを作りたい。フユイチゴなどでジャムを作りたいと思いました。星空観測会の参加者にも試食してもらいたいです。

私たちが久重の魅力を知る。チラシを作って地域のことを発信する。久重の自然をみんなで大切に。そうすると、久重が元気になる。空と大地の恵み豊かな久重の魅力を多くの人に伝えよう。星空観測と保存食でまちを元気に。これで久重 natural チームの発表を終わります。

【質疑応答】

前田委員

申請書に「星空チームでは星の勉強をしたり、久重で星の観測を計画したりして地域内外の皆さんと星空を見てみたいと思っている」と書かれていますが、星の勉強はどのようにするのでしょうか？

久重 natural チーム

高知市にいる星について詳しい人に話を聞いたり、本を見たりして勉強したいと思っています。

尾崎委員

保存食チームの皆さんに質問ですが、今回、実際に保存食を保存する予定でしょうか？保存する際は、保存する場所などは既に決まっているのでしょうか？

久重 natural チーム

地域でとれる有用植物を去年勉強したので、野生で生えている有用植物を採ってきて、いろいろな保存方法があるので、その方法を使って保存していきたいと思っています。場所については、それぞれ保存する場所があるので、まだ決まっていません。

発表団体⑪ AOYAGI 地域盛り上げ隊

(活動テーマ：高須・五台山地区の魅力を発信し、地域を盛り上げよう！)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



これから、AOYAGI 地域盛り上げ隊の発表を始めます。

今年の活動のテーマは、「高須・五台山地区の魅力を発信し、地域を盛り上げよう」です。昨年度、私たちは「過去の絶海池を取り戻し、地域の笑顔をよみがえらせよう」というテーマで活動を行い、学校の近くにある絶海池の清掃を通して、地域の方と交流を深め、自分たちの住むまちを綺麗にすることができました。昨年活動する中で、絶海池の昔の様子についてお話を伺った大野さんが、コスモスをまく会の会長を務められている事を知ったり、五台山まちづくりの会の皆さんが、来年度浜口雄幸さんの生誕 150 周年記念行事を計画しているということを知りました。高須のコスモス畑は、週末になると、たくさんの方が訪れる観光スポットになっているし、浜口雄幸さんは私たちのふるさとを代表する偉人の一人です。そのような、たくさんの魅力がある、高須・五台山地区の良さを、たくさんの人に知ってもらえるような機会を作りたいと思い、今年も応募することにしました。昨年度のテーマである絶海池の清掃は、今年も続けながら、新しい活動にも挑戦したいと思います。

具体的な活動のスケジュールについて説明します。7月は浜口雄幸さんについて自分たちで調べたり、地域の方に話を伺ったりして、どんな活躍をしたのか、しっかりと学びたいと思います。夏休みには、浜口雄幸さんの生家清掃活動を実施し、その様子を新聞にして配布したいと考えています。

9月は絶海池クリーン大作戦の様子をチラシで配布し、参加を呼びかけて、準備をしていきたいと思っています。絶海池クリーン大作戦の様子は、新聞第2号で紹介します。

11月には昨年度実施できなかった、絶海池の周りの花植えとコスモス畑にかかる行事の計画・運営をしたいです。具体的な活動については、これから地域の人と相談をして考えていく予定です。

12月は花植えやコスモス畑のイベントについて紹介した、新聞第3号を発行する予定です。昨年度、地域の方から、「絶海池は冬の北風によってゴミが集まってくる」という事を教えていただいたので、2月にもう一度、絶海池のクリーン大作戦を実施します。清掃活動の様子は、新聞第4号で紹介し、今年も去年と同じように発行した新聞を、冊子にして配布する予定です。

こどもファンドの活動は2月末までですが、3月には地域の方と協力して、浜口雄幸さんの生誕150周年記念行事にむけた準備を行いたいと思っています。こどもファンドの活動を通して、私たちの住む高須・五台山地区の魅力を発信し、活気あふれるまちづくりに貢献できるよう、頑張りたいと思います。これで、AOYAGI地域盛り上げ隊の発表を終わります。

【質疑応答】

古谷委員

絶海池清掃は、高須・五台山地区全体に参加を呼び掛けるのでしょうか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

小学校やふれあいセンターにチラシを配布して、高須・五台山地区全体に参加を呼び掛けたいです。

前田委員

10月と2月に行う絶海池の清掃は、昨年度と違うエリアを清掃するのでしょうか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

同じエリアも清掃しつつ、新しいエリアも清掃していきたいと思います。

森本委員

2月末に、「新聞を4号発行したものを冊子にして配布する」との事ですが、その冊子は学校に配布するのでしょうか？それとも、地域に配布するのでしょうか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

去年は青柳中学校全生徒と、高須・五台山の小学校とふれあいセンターに配布しました。

吉本委員

絶海池の清掃活動は昨年に行ったと思いますが、なかなか綺麗になっていないという感じでしょうか？それとも、清掃をしたおかげでかなり綺麗になってきたというイメージか、皆さんの印象を聞かせてもらえますか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

去年清掃をやった後、学校の生徒から匂いとかもあまり気にならなくなったと教えてもらいました。来年・再来年と続けていって、もっと綺麗にしたいと思いました。

発表団体⑫ Village Jamboree

(活動テーマ：ぶちまけ！発信！愛宕カラー！～フリーペーパー『ATAGOBITO』～)

【パワーポイントを使ったプレゼンテーション】



皆さん、こんにちは。Village Jamboree です。

ぶちまけ！発信！愛宕カラー！フリーペーパー「ATAGOBITO」の作成。愛と笑顔と個性のまち「愛宕商店街」。愛宕町の魅力は、①温かくてお茶目なまちの人、②个性的なお店、③誰でも受け入れてくれるビックハート。でも最近では、シャッター通りになりつつあります。それに、あまりまちのことを知られていません。というわけで Mission、「愛宕商店街の魅力度をあげよう！」。

私たちはこの現状を回復し、より多くの人に愛宕町を知ってもらうために、フリーペーパー「ATAGOBITO」の作成を行いたいと思います。私たちが考える愛宕町の魅力は、店そのものではなく、愛宕の人にあると考えました。そのため、愛宕町の人に毎月ピックアップをし、地元の私たちがしか作れないようなフリーペーパーを、毎月発行していきたいと考えています。

活動内容の参考事例として、大阪府玉造市の「Brother TIME」という子どもたちが作ったフリーペーパーがあるんですが、おしゃれなデザインと子どもの辛口なコメントが好評を呼んで、SNS 上でも拡散され、利用客も増えたとのこと。

活動計画としては、上旬にアイデア構想と取材交渉、中旬には取材と制作、下旬には印刷・配布という流れを、毎月行っていきたいと計画しています。そして私たちは、より多くの人に知ってもらうために、インスタグラムや Twitter、You Tube などの様々な SNS をフル活用することで、知名度を上げていきたいと考えています。

私たちが考える活気のあるまちは、「住民全員が良さを知っているまち」だと考えました。愛宕町を世界に発信することも大事かもしれませんが、まずは愛宕町商店街の人を、そして周辺に住む方々が

良さを知ることが大事だと思います。そのきっかけとして、私たち、Village Jamboree が ATAGOBITO を通じて、まちを知り、より愛され、頼られるまちにしていきたいと考えました。最後まで、ご清聴、ありがとうございました。ぜひ、ご助成をよろしく申し上げます。

【質疑応答】

吉本委員

フリーペーパーをどの辺りで配布するといったことは決まっていますか？

Village Jamboree

活動内容の欄に記入させていただいているんですが、印刷・配布したりする場所は空港・高知駅・市役所・もちろん愛宕商店街のお店に許可をもらって配布させていただきたいと考えています。

森本委員

すごく計画性がある素晴らしい活動だなあと思うんですが、メンバーは 3 名だけで大丈夫ですか？増やしていく予定はありますか？

Village Jamboree

現時点で活動するのはこの 3 人です。学校の部活と毎月発行することを両立するのは難しいかなという声もあったんですが、とにかく 3 人のそれぞれ特技があるので、SNS で広報する係だったり、パンフを作成する係、フリーペーパーを作成する係だったり、分担してやっていきたいと思っています。

卯月委員長

なぜ愛宕商店街を選んだのですか？皆さん、愛宕周辺に住んでいるのでしょうか？

Village Jamboree

はい。私たち 3 人は愛宕商店街の近くに住んでいて、学校の帰りに通っているところが愛宕商店街だったので、「このシャッター通りの現状は嫌だなあ」「もっと知ってもらいたいなあ」と思って企画しました。

尾崎委員

予算欄に「サイト制作・アプリ代」が 8 ヶ月分計上されていますが、それ以降はどのようにされるのでしょうか？

Village Jamboree

現時点では 8 ヶ月分の予算しか計上していませんが、それ以降も続けていきたいと考えています。

3 こども審査員による一次判断

こども審査員 10 名が「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」の 3 区分で一次判断を行いました。

こども審査員が審査の際に何を重要と考えるかの評価ポイントは、公開審査会の 1 週間前に開催した「事前研修会」においてこども審査員が全員で話し合い、決めた項目を使用しています。

評価ポイント

- ① 持続性がある活動の見通しが立っているか
- ② 子どもたちが中心となって楽しんで自主的に活動できるか
- ③ 地域のためになる工夫のある活動か



▲事前研修会で評価ポイントを決めた際の様子。

【一次判断の結果】

No.	団体名	一次判断		
		いいね!	もう少し 質問がある	もうちょっと!
1	旭地区防災食プロジェクト	●●●●●●●●●●		
2	土佐山宣隊 6 ネンジャー	●●●●●●●●	●	
3	ふんわりシスターズ	●●●●●●●●	●●	
4	高知とさじゅく広報部	●●●●●●●●	●●	
5	太平洋学園コミュニティー協力隊	●●●●●●●●●●		
6	Juvenile	●●●●●●●●	●●	
7	朝倉中学校生徒会	●●●●●●●●●●		
8	おおつつ子	●●●●●●●●●●		
9	Co-CREATOR	●●●●●●●●	●●	
10	久重 natural チーム	●●●●●●●●●●		
11	AOYAGI 地域盛り上げ隊	●●●●●●●●	●	
12	Village Jamboree	●●●●●●●●●●		

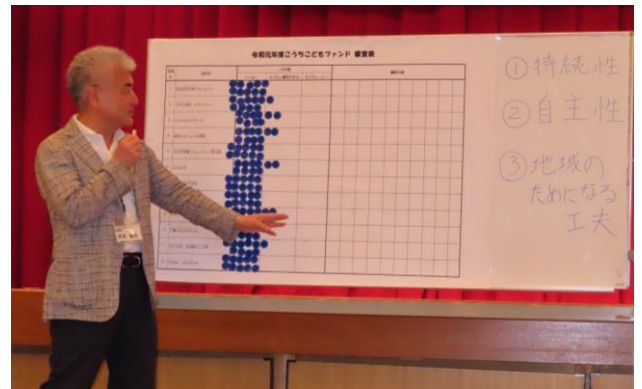
4 審査員による公開審議

【進行：卯月委員長】

1次審査をこども審査員が行いました。「いいね」「もう少し質問がある」に票が集中していて、「もうちょっと」が0票になっていますので、今回皆さんが助成される確立は高いですね。

ただ、こども審査員の皆さんは、事前研修で3つの評価ポイント（31P参照）を重視したいということを決めていますので、この視点に関する質問があれば、追加で質疑応答をしていきたいと思えます。状況によっては、大人審査員に聞くこともあります。

先ほどは全グループ8分間（発表3分間、質疑応答5分間）で話を伺いましたが、これからは票数も違いますし、内容も異なりますので、グループによって質疑応答時間に長短が出てくることはご了承ください。それでは、順番に公開協議を始めていきたいと思えます。



公開協議① 旭地区防災食プロジェクト

古谷委員

同じテーマで3年目の活動になると思えます。メンバー・年齢・学校も広がっていると思えますが、来年度以降も違うテーマで活動するのでしょうか？

旭地区防災食プロジェクト

来年以降もやっていきたいです。

森本委員

「今年で3年目で、来年もやりたい」という事なんですけど、来年は活動テーマを変えるのでしょうか？それとも、同じく防災食について考えていくのでしょうか？

旭地区防災食プロジェクト

他の地域の人に教えていけるようにしたいです。



公開協議② 土佐山宣隊 6 ネンジャー

吉本委員

「看板の設置場所をいくつか考えている」との話があったんですが、正確に何個くらい看板を作って、何箇所に設置しようかなという事が決まっていれば教えていただきたいです。

卯月委員長

19万円の予算はかなり高額になるので、個数を知りたいという意見が大人審査員からもありました。

土佐山宣隊 6 ネンジャー(大人サポーター)

子どもたちが作ったものをデータ化して、そのまま看板屋さんに頼むと5万円位になるようなので3つは作れると思うんですが、データ化できなければ19万円位になることを業者さんに教えていただきました。実際は、助成金の範囲内で作りたいと考えています。

卯月委員長

土佐山学発表会というのが行事に書いてありましたが、そもそも「土佐山学」とは何なのか教えてくださいませんか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

総合的な学習のことを、土佐山学舎では「土佐山学」と言っています。

卯月委員長

総合学習でそういったことを学習して、地域に向けて発表するという事ですか？

土佐山宣隊 6 ネンジャー

そうです。



公開協議③ ふんわりシスターズ

森本委員

商店街のパンフレットって結構あると思うんですけど、それを踏まえて子どもたちにしかできない工夫をされる予定なんですか？

ふんわりシスターズ

パンフレットの内容はまだ考えていないので、どんな工夫をするといったことも具体的には考えていません。ただ、日本語だけでなく英語のパンフレットも作る予定にしているので、そういった人たちに配慮したお店などを書いてみたいと思っています。

森本委員

英語のパンフレットを作る際、翻訳はどうされるのでしょうか？

ふんわりシスターズ

サポートしてくれる大人が英語の先生なので、翻訳を手伝ってもらいたいと思いますが、基本的なことは私たちで考えようと思っています。

吉本委員

質問ではありませんが、1500枚のパンフレットを配布する際には、高知駅だけではなく、日曜市・高知城のような外国人や観光客が集まるような所でも配れたらいいんじゃないかと思います。

卯月委員長

ふんわりシスターズと Village Jamboree の2グループは、同じ国際中学校で、両方とも商店街にテーマを絞りパンフレットを作成することになっていますが、グループ同士で相談はしていますか？

それから、吉本委員と森本委員の質問にもあったように、商店街のパンフレットは実際山のようにあります。なので、「パンフレットだけでは盛り上がらないのではないか」と大人は思うんですが、そういう所に子ども目線の何かを入れると、また商店街の魅力が出てくるのではという期待があります。「高知の商店街を子ども目線でどうしていけばいいのか」ということを2グループで相談しながら考えていただけるといいなあと大人は考えてしまうんですが、その辺りはどうでしょうか？

ふんわりシスターズ

愛宕商店街については Village Jamboree の方と連携しながらやっていくという事になっていて、子どもならではの目線はまだ考えてないのですが、これから考えていく予定です。Village Jamboree もフリーペーパーという形で同じように配布することになったので、どうやったら盛り上がっていきけるかということ話し合いながら考えていければと思っています。



梶審査委員

「パンフレットを作成し、SNSで発信する」ということについて、SNSで情報を見てもらうためにはたくさん発信していかないと、なかなかみんなに注目してもらえないと思うんですね。SNSを使うという事は、たぶん想像以上の作業が発生すると思いますが、パンフレット作成とSNS管理を含めて、「これをやり切れるか」ということが気になります。SNSを使って情報発信をすることについて、どのように考えていますか？

ふんわりシスターズ

今考えているのは Twitter だけなんですけど、他にもインスタグラムや色々な SNS を使って、私たちの活動を発信していきたいと思っています。両立については、作業を分担するのではなく、活動したらその内容を SNS で発信するといったように、全員で二つのプロジェクトを並行して進めていきたいと思っていますので、大丈夫だと思います。

公開協議④ 高知とさじゅく広報部

吉本委員

さっきの発表の時にも質問したんですが、皆さんの気持ちとして、どのくらいの動画再生数を取りたいのかを知りたいです。

高知とさじゅく広報部

「シーブリーズ」が公開している高知の魅力を PR する動画が、現在 15,000 回くらいの再生数があるのですが、それを超えたい。20,000 回くらいを目標にされていて、ゆくゆくは高知市の人口の半分、150,000 回くらいはいきたいなあと思っています。

吉本委員

頑張ってください。

卯月委員長

素晴らしい。

森本委員

初めてこういう活動をする団体に出会えて、素晴らしいなあと思いました。今年の評価ポイントには「子どもたちが中心となって、楽しんで活動ができるか」という点があり、変わった質問になるかもしれませんが、この活動に取り組んで楽しめますか？

高知とさじゅく広報部

楽しめます。

卯月委員長

映像を作るのが好きなんですか？

高知とさじゅく広報部

みんなが楽しんでいる姿を見るのも、動画を作るのも楽しいと思うので、楽しめます。

森本委員

頑張ってください。



卯月委員長

僕は先ほどの発表の質問で、「今年の助成が決まった段階で全ての団体を撮影するのでしょうか？」
「自分の団体は含まないんですよね」と言いましたが、「自分たちの団体も自撮するのも面白いかもしれない」と今、思いました。

公開協議⑤ 太平洋学園コミュニティー協力隊

質問なし。

公開協議⑥ Juvenile

増田委員

交流の時に考えている「昔遊び」というのは、生徒の皆さんと地域の人と交流するのか、それとも地域の人同士が交流するのかを教えてください。

Juvenile

地域同士で交流して欲しいと思っています。

森本委員

「災害が起きた時に助け合えるように地域と交流をする」との事ですが、メンバーは4人だけなんですか？それとも、全校生徒や何人かの生徒に参加してもらいながら交流するのでしょうか？

Juvenile

僕たちの学校ではボランティア活動に積極的に参加していて、今年は「1年生のボランティアのアシストをする」ということを僕たちがしています。なので、1年生に参加してもらって、こうちこどもファンドの雰囲気味わってもらいたいと考えています。

谷脇審査委員

皆さんの活動内容について、「学校と地域との交流」をメインにするのか、「地域内の交流を生徒がプロデュースする、あるいはお手伝いする」をメインにするのか、どちらにしたいと考えていますか？

Juvenile

基本的には地域同士の交流をメインにしたいと考えていますが、普段自分たちが関わるできない地域の人たちとも交流できると思うので、メインは地域ですが、私たちも地域と交流したいと考えています。



公開協議⑦ 朝倉中学校生徒会

質問無し。

公開協議⑧ おおつっ子

卯月委員長

これも全員「いいね」に票が入っていますが、改めて何か質問はありませんか？

吉本委員

防犯劇というのは、「こういった犯罪が起こるから対策をする」という内容か、それとも「こういう地域に危険があるから、ちゃんと理解して過ごしましょう」というような啓発的な内容にするのか、その辺りを教えていただきたいです。

おおつっ子

「地域にある危険を考えて、それを地域に伝える」ということを目的に考えています。

卯月委員長

不審者がすごく多いと申請書にも書いてありましたが、大津はそのような地区なんですか？それとも、たまたまおおつっ子の子が気づいたという事なんですか？

山本審査員

高知市内中心部と同じだと思いますので、大津地区だけ不審者が多いわけではないと思います。「昨年不審者のせいで部活動が中止になった」という発言が発表の中でありましたが、自分たちが経験・体験した事があって、防犯劇を思い付いたのではないのでしょうか。

森本委員

自分も大津に住んでいるので気になるんですが、この防犯をテーマにする事による最終的な目標は「防犯に対する意識を高くしたい」のか、それとも「不審者を減らしたい」のか、どちらでしょうか？

おおつっ子

不審者が多いので、「防犯を通して地域と繋がる」という事を目標にしています。



田部委員

やはりメンバーが3人だけでは活動の呼び掛けも大変ではないかと思います。もっと人数が欲しいなあと思う時期が来ると思うんですが、その辺りはどう考えていますか？

Co-CREATOR

やはり3人だと大変なので、町内会を味方につけて呼び掛けていこうと思っています。

卯月委員長

3人は「中学校は違うけど、小学校が一緒」と言っていましたよね。中学校はバラバラになっただけ、小学校の仲間でも地域のために何かをやろうという集まり方ってとても面白いと思いました。ほかにもそういう小学校の仲間など、メンバーを広げられたりする可能性はありますか？

Co-CREATOR

難しいと思います。

卯月委員長

では町内会のほうでお願いします。

宇賀委員

「町内会や地域の方を巻き込む」と言われていましたが、その巻き込み方を教えてもらいたいです。

Co-CREATOR

ポスター等を作って団地内の掲示板に掲示して、「自分たちがこういう活動をしている」と共有し、それに興味を持ってくれた人に「一緒に活動してくれませんか」と勧誘しようと思っています。



卯月委員長

大人に「協力しなくちゃ」と思ってもらうために、団地の課題を落とし込んだ子ども目線のマップのような物を作ってみたらいいんじゃないかと、質疑応答を聞いていて感じました。

卯月委員長

皆さん「いいね」に票が入っていますが、3つの評価ポイントで質問はありませんか？

森本委員

3つの観点から外れるかもしれませんが、最初のプレゼンの時に子どもたちが、「あれもしたい」「これもしたい」「だから2つの活動にした」と発言されていましたが、他に「どんなことをやりたい」という意見があったんでしょうか？



久重 natural チーム

一番多かったのは「祭りがしたい」という意見でした。

山川委員

旭地区防災食プロジェクトも同じく保存食を作りたいと発表されていましたが、この2チームは昨年度交流があったと思います。保存食づくりの点で、2チームが相談・連携するなど、これからそういった予定はありますか？

久重 natural チーム (大人サポーター)

昨年度は旭地区防災食プロジェクトさんの方に声をかけていただいて、団体で交流させていただきました。そして久重 natural チームも旭地区防災食プロジェクトに活動への参加を呼び掛けた経緯があります。

今回お互いのチームが話し合ったわけではなかったのに、なぜか同じ「有用植物を使った保存食」という事で意見が一致しましたね。また、今年度も声を掛け合ってやっていくと思いますので、いろいろ交流を深めることも考えられると、聞いていて思いました。

卯月委員長

交流してどうでしたか？

旭地区防災食プロジェクト

楽しかったです。また今年もよろしくお願いします。

公開協議⑪ AOYAGI 地域盛り上げ隊

吉本委員

去年も絶海池清掃では、確かゲーム方式で「グループに分かれて拾ってきたゴミの量を競う」という企画をやられていたと思います。今年は絶海池清掃は単に清掃するだけなのか、昨年と同じようにゲーム方式ですか、どちらでしょうか？

AOYAGI 地域盛り上げ隊

去年チームを作って競ったのですが、男女の差が出てしまい、男子チームが一番になって女子チームから不満がでたので、今年度は男女平等にしたいと思っています。



公開協議⑫ Village Jamboree

質問なし。

5 審査結果発表

審査結果発表 梶審査委員

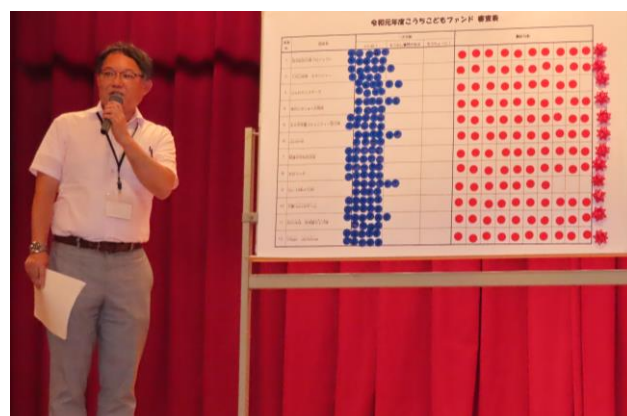
皆さんこんにちは。審査員の梶と申します。それでは最終審査の結果の発表をしたいと思います。

※こども審査員の過半数（10名中6名以上）が助成すると判断した場合に助成決定。

発表No.	団体名	助成金額	得票数	助成可否
1	旭地区防災食プロジェクト	200,000	10	採択
2	土佐山宣隊 6ネンジャー	200,000	10	採択
3	ふんわりシスターズ	165,000	9	採択
4	高知とさじゅく広報部	200,000	10	採択
5	太平洋学園コミュニティー協力隊	200,000	10	採択
6	Juvenile	200,000	10	採択
7	朝倉中学校生徒会	198,220	10	採択
8	おおつっ子	200,000	10	採択
9	Co-CREATOR	80,000	7	採択
10	久重 natural チーム	200,000	10	採択
11	AOYAGI 地域盛り上げ隊	200,000	10	採択
12	Village Jamboree	200,000	10	採択

今回、申請していただいた団体全てに助成が決定しました。おめでとうございます。

12団体という非常に多い申請がありましたけれども、「地域の魅力を発信しよう」という団体が非常に多かったと思いました。これから活動を頑張っていたで、3月の発表会で報告を聞かせていただくことを楽しみにしています。冊子を作られる団体もあるかと思いますが、発表会に成果物を持ってきて頂けたら皆さんに共有できると思いますので、よろしくお願ひします。以上で結果発表を終わります。



高知市長 岡崎誠也からの挨拶

こども審査員の皆様方、大人の審査員の方々、そしてそれぞれ参加していただきました 12 チームの皆様、大変お疲れ様でした。

どの団体もプレゼンがすごく上手で、質疑にも的確に答えられていました。12 チーム全てに助成が決まり、私たちはホッとしています。

継続的に活動されているチームも増えてきていますが、「高知とさじゅく広報部」のような「高知の魅力を世界に発信したい!」といった新しい切り口での活動提案もありました。私の記憶では、広報を取り上げた内容は初めてのように思います。私は過去に「私たちは現代っ子だから携帯で挨拶を読みます」と言って、自分の携帯に入力した挨拶文を読んだ子を見たことがあります。また、SNS など様々な広報手段が増えていますし、そうした時代なので「ああ、そうだ。こういう切り口もあるんだ」という事を、我々は改めて思ったところでございます。

私どもは卯月先生の指導の元にこのファンドを 8 年前から始めましたけれども、チーム同士の交流が進み、様々な広がりが出てきている状況を拝見し、本当に皆様に感謝しております。今後ともよろしく申し上げます。ありがとうございます。



こども審査員からの感想発表

【古谷委員】

皆さん、プレゼンお疲れ様でした。

皆さん、すごく個性がある活動ばかりで、審査をしている方もとても楽しかったです。3月の活動発表会も楽しみにしています。



【前田委員】

皆さんプレゼンお疲れ様でした。

今日は、どの団体からも地元高知をもっと良くしようという想いが伝わってきました。3月の活動発表会を楽しみにしています。

今日はありがとうございました。



【増田委員】

プレゼンお疲れ様でした。

今年のプレゼンを見ていると、すごく個性があってみんな楽しそうに発表していたので、審査していてすごく楽しかったです。これからの活動も頑張ってください。お疲れ様でした。



【水沼委員】

皆さんお疲れ様でした。今回初めてこども審査員をさせていただいて、こんなにも子どもたちが中心となって自分たちの地域の魅力を知って欲しいという想いや活性化させたいという想いを知れて、とてもいい体験ができました。

また、プレゼンテーションも工夫されていて、楽しんで活動している事がすごく伝わってきたので、これが高知の温かさだったり、人の良さだと思いました。皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



【西森委員】

プレゼンお疲れ様でした。

初めて審査員を務めさせていただいたんですが、12団体とも高知を良くしたいという想いが伝わってきて、すごいと思いました。3月の発表まで、約半年ぐらいですが、頑張ってください。楽しみにしています。



【戸田委員】

プレゼンお疲れ様でした。

私は今回初めて審査員になって、子どもが中心となり地域のためにボランティア活動しているという事を初めて知りました。「自分たちがやろう！」と思って発表に工夫をしたり、熱意がすごく伝わってきたので、聞いていてすごいなと感心する事がたくさんありました。今までボランティアとかに積極的ではなかったけれど、これからは皆さんのようにボランティア精神を磨いていけたらなと思います。ありがとうございました。



【宇賀委員】

今日はプレゼンお疲れ様でした。12団体の皆さん、助成おめでとうございます。

久しぶりにたくさんの団体が集まって、いろんなプレゼンを見ることができて、楽しかったです。最近のプレゼンはスクリーンに映すことが多いですが、模造紙での発表を見ることができて、昔を思い出して懐かしい気持ちになりました。どの団体も自分のしたいことを明確に発表できていたところに感動しました。3月の発表を楽しみにしています。頑張ってください。



【森本委員】

今日は12団体の皆さんお疲れ様でした。そしておめでとうございます。

今回のプレゼンの資料を見た時、とても面白い工夫がされていました。高知とさじゅく広報部の活動内容を資料で見た時、すごく面白そうだなと思いました。「こどもファンドで活動する団体を利用した活動」って今までなくて、初めてだったんですよ。だから見た時、「こんなすごく面白い活動を高知の人って思いつくんだな」と思いました。



宇賀委員がさっき言ったように、今回のプレゼンはスクリーンに映すのではなく、模造紙を使って、さらにマイクを使わず台本を読まずに発表する団体がいくつかあって、私も「懐かしいなあ」と思いながら見させていただきました。

今回の助成金の合計は、12団体合わせて約224万円です。この大金はもちろん高知市が用意したお金ですが、寄附金で成り立っている部分もあります。なぜ寄附してくれるかということ、次の世代を担う子どもたちのために託して、そのお金を寄附してくれているんだと思います。皆さんには、そんな大人たちの期待に応えるような活動になって欲しいなあと思います。今日はお疲れ様でした。

【田部委員】

全団体の皆さん、発表お疲れ様でした。今回、自分が一番印象に残っているのは、「動画投稿 SNS を使って高知の魅力を発信する」という事です。それは若い人にとって一番身近な存在で、一番簡単に高知の魅力が知れるんじゃないかなあと思いました。これから大変なこともあると思いますが、諦めずに頑張ってください。楽しみにしています。ありがとうございました。



【吉本委員】

全12団体の皆さん助成おめでとうございます。そしてお疲れ様でした。

皆さんの発表を聞いていて、どの団体も「自分たちのクラス・学校・住んでいる所などを良くしたい」という強い意思を持っているんだなと感じました。そんな子どもたちがこんなにもたくさんいるということが知れて、同じ世代の僕でも「将来高知県は安泰だな」と思いました。



あと、皆さんには活動を楽しんでやっていただきたいと思いました。こうちこどもファンドで助成を受けて、「お金があるからやらなくちゃ」ではなくて、「お金もあるから皆で楽しんでやりましょう」「次の世代に見てもらおう。先輩方が頑張っていたから僕たちも頑張ろう」という気持ちになってくれると僕は信じています。今回助成をうけた12団体の皆さんは、もちろん大変なことが多いと思いますが、楽しんで、自分たちが「やってきてよかった」と思えるように頑張ってください。3月の活動の発表会、期待しています。

こどもファンドアドバイザー・こども審査員サポーターからの感想発表

【畠中こどもファンドアドバイザー】



12団体の皆さん、おめでとうございます。皆さんホッとしていると思います。実は、私もホッとしているんです。今日の公開審査会に至るまで、12団体のうち7団体の皆さんからお呼びがかかって、アドバイスに入っていました。その中で皆さんがこんな事をやりたいと思っているとか、なぜやりたいと思ったのかというふうなお話を聞かせてもらったり、これを具体的に進めていくにはどんな人の協力があったらできるだろうか、あるいはどんな人とやっていったらいいのかという話し合いをしてきた事が、今日のプレゼンテーションの中でもしっかり伝わったんだなと思いました。

今日、質疑応答の中で「これから考えます」というようなことがたくさんあったと思います。実際にこれから助成を受けて活動を始めていくと、いろいろなことが出てくると思います。皆さんがいろんなことを計画しているんだけど、やり始めてみると、当初の想いとは違う何か壁にぶつかったりする事がきっとあります。その時には地域コミュニティ推進課を通していつでも私を呼んでください。一緒に悩んで、一緒に考えながら、解決策を見つけていきたいです。またこれから3月まで一緒に頑張っていきましょう。本日はお疲れ様でした。

【宮田こども審査員サポーター】



皆さん、どうもお疲れ様でした。併せて、助成おめでとうございます。私は、今回初めてこども審査員サポーターとしてこどもファンドに関わらせていただきましたが、本当に私がサポートする以前に審査員の子どもたちは、皆さんの事業の内容であるとか、どんな質問をしようかと、事前に勉強をされていて、今回臨んでいました。

今回初めて皆さんの発表を見させていただいて、本当に各団体ともに自主性があり、こどもたちの「身の周りの人との繋がりをもっと大事にしたい」という想いを感じる事ができました。本当にいい勉強をさせていただきました。これから皆さんの活動がどんなになっていったのか、私も本当に3月を楽しみにしています。今日はありがとうございました。

卯月審査委員長からの講評及び閉会の挨拶



大変疲れているところに申し訳ありません。最後に少しだけ気が付いたこと、感想を伝えさせていただきます。

先ほどの市長のお話にあったようにこうちこどもファンドは8年目を迎えまして、「ある段階」に達してきたという印象を受けます。それはなぜかということ、2つのことで感じました。

1つ目は、先ほど宇賀さん・森本さん・田部君の3人の感想の中にもありましたが、実は彼らは6年間、小学生のときから審査員をやっているということです。当初この企画を市役所の方と話したときに、「こども審査員なんて集まるのかな」「こどもが審査できるのかな」と大議論になったんです。「高知のこどもならできるよ」「受験があるから長くはできません。1年交代です」というやり取りがある中で、僕は「継続したいという子どもがいたら継続してもらおう」と思っていて、始めてみれば6年間来てくれた子どもたちがいました。先ほどの宇賀さんが「懐かしい」という感想を言われていましたが、「何年前の話をしているんだろう」と笑ってしまったし、森本さんの話にもあったように審査する者もすごく成長してきていると思いました。まちづくりを見る視点、評価する視点をすごく勉強してきて、彼らは評価するだけでなく、いつでも活動する側に回ることもできていると思っていて、この8年で審査員も成長してきていると思いました。

もう1つは、これも市長や何人かの審査員も指摘していましたが、「高知とさじゅく広報部」のような活動が出てきたことです。1年目、2年目では絶対出てきません。私は、大人版のファンドのお手伝いもしているんですが、大人でも6・7年くらい、場所によっては7・8年位経たなければこのような

活動は出てこないんです。「単に動画を撮るだけ」と今日は仰っていたけれど、実は広報の動画を撮る中で絵になる画像が欲しくなったり、「こういうことをやったら皆さんに伝わるんじゃないだろうか」とアドバイスできる立場にもなるのではないのでしょうか。広報は「単に活動だけを伝える」という事ではなくて、その活動の良いところを評価し、それを知らない人にきちんと伝えようとする中で多くの事を学べると思います。今年は無理かもしれないけれど、継続的にやっていくと、広報と併せて「企画のアドバイス役」にもなれるかもしれません。畠中さんがやっている活動（アドバイザー）と一体的に、あるいは市役所がやっている全体の事務局的な役割と一体的に進める重要な活動だと思います。これを大人の活動グループに例えれば中間支援組織、少し難しいかもかもしれませんが、「中間支援」といっています。要は、一方に行政、一方に市民の団体がある、でもその隔たりが結構遠かったりするんですよ。けれども行政と市民、今回の場合で言うと高知市役所と子どもたちを何らかの中間に位置して支援する、あるいは市役所の意向がわかる中間支援組織という活動になっていくんですね。そういう芽が出てきたということが、まさに高知のこどもファンドが定着しつつあるという事です。高知の12団体、これだけたくさんの方が今日は来ていただいたのを見て、定着してきた事をととても嬉しく思います。高知の皆さんはこれを誇りに思っていると思います。

もう1点だけ言わせてください。日本全国には市町村が1800近くあるんですけど、僕の研究室で修士論文を書いている学生が、こども議会やこども委員会、いわゆる市町村の行政の中で「子どもたちにまちについて考えてもらったり、子どもたちから提案をしていただいたりする制度を持っていますか」というようなアンケート調査をしました。一般的にはそういったアンケート調査というのは、たくさん渡しても2割~4割の回答があれば「とても良かった」と我々は思うんですけど、このアンケート調査は67パーセントの回答をいただきました。分析してみると、大都市ではなく、むしろ中都市レベル、あるいは何年か前に限界都市という言葉がありましたね。都市の人口がどんどん減ってきてしまうので、人口減少・少子高齢化に関して危機感を持っている市町村が「こども政策を充実しよう」という回答が挙がってきました。いつ頃からやっているんだろうかと考えて調査すると、1つに「限界集落という、人口減少で無くなってしまいう都市がある」という事が発表された時期であります。もう1つは、18歳の選挙権が実現した時期であります。その2つのことをきっかけに、多くの市町村が「もっと子どもたちにまちのことに関心を持ってもらって、多くの提案をしてもらって、提案してもらった市町村はそれを1つでも多く実現していこう」という体制が今、2014・2015年くらいから次第にじわじわと高まってきているんです。その最先端を走っているのが高知だと、僕は思っています。

今日、皆さんから提案された内容で「子ども目線」という言い方を僕はしていましたけれども、その子ども目線というのが特に大事なんです。大人もかつて子どもだったから、子どもの目線を持っていたんですが、社会の中でどんどん忘れてしまったんですね。だからどこかのグループにあったんですが、「ゴミが落ちていてもしょうがない、あたりまえじゃないか」「ちょっと汚くて分かりにくい看板でもしょうがないよ」「街路灯が少なくて暗いけどしょうがないよね」というふうには大人は諦めちゃ

うんです。でも、皆さんは「それはおかしいよ」「これ直せるよ」という風に今日提案して下さったわけですから、その視点・目線を大事にして、これからもっと高知は変わっていかないといけないし、日本全国に広げていかないといけない。どこかの団体のプレゼンにあったように、「世界がみんな変わっていかないといけない」、そういう事を今日皆さんは発信してくれました。ここにきた大人たちはみんな学んだと僕は思います。僕もこの午後の時間、貴重な体験をさせていただきました。どうもありがとうございました。

資料編

- 高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- 令和元年度公開審査会アンケート結果
 - ・一般来場者
 - ・応募団体向け（対象：子ども）
 - ・応募団体向け（対象：大人サポーター）

高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、高知市子どもまちづくり基金条例（平成24年条例第23号）第1条に規定する基金の設置目的を達成するため、高知市子どもまちづくり基金助成金（以下「助成金」という。）を交付することについて、補助金等の交付に関する条例（昭和29年条例第19号）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(助成対象団体)

第2条 助成金の交付の対象となる団体（以下「助成対象団体」という。）は、次に掲げる要件のすべてを満たす団体とする。

- (1) 本市に在住又は通勤若しくは通学している18歳以下の子どもが3人以上いること。
- (2) 団体の責任者及び監査として、20歳以上の大人が2人以上いること。
- (3) 活動の目的が明らかであり、当該助成に係る事業を自主的に行えるものであること。
- (4) 複数の世帯で構成される団体であること。
- (5) 過去に、同一の事業についてこの要綱に基づく助成金の交付を3回以上受けていないこと。
- (6) 団体の運営に関する規約、会則等を定めており、適切な会計処理が行われていること。

2 前項の規定にかかわらず、助成対象団体が、高知市事業等からの暴力団の排除に関する規則（平成23年規則第28号。以下「規則」という。）第4条各号のいずれかに該当すると認める場合は、助成金の交付の対象としない。

(助成対象事業)

第3条 助成金の交付の対象となる事業（以下「助成対象事業」という。）は、本市内において、子どもが主体となって取り組むまちづくり活動に係る事業とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる活動は助成対象事業としないものとする。

- (1) 営利を目的とする活動
- (2) 宗教的又は政治的な活動
- (3) 学校の授業の一環として行う活動

(助成対象経費)

第4条 助成金の交付の対象となる経費（以下「助成対象経費」という。）は、助成対象団体が行う助成対象事業に要する経費とする。

(助成金額)

第5条 助成金額は、助成対象経費の額を限度として予算の範囲内において、市長が認める額とする。

(助成金の交付申請)

第6条 助成対象団体は、助成金の交付を受けようとするときは、助成金交付申請書（様式第1号）に、必要書類を添えて、市長に申請しなければならない。

(助成金の交付決定)

第7条 市長は、前条の申請があったときは、その内容を審査し、助成金の交付の可否を決定し、適当と認めるときは助成金交付決定通知書(様式第2号)により、適当でないと認めるときは所定の助成金交付却下通知書により当該申請をした助成対象団体に通知するものとする。

2 市長は、助成金の交付決定に際し、必要な条件を付することができる。

(交付申請の取下げ)

第8条 前条第1項の規定により助成金の交付決定を受けた助成対象団体(以下「助成事業者」という。)は、その内容又はこれに付された条件に不服があり、交付申請を取り下げようとするときは、当該交付決定の通知を受けた日から2週間以内に、その旨を所定の助成金交付申請取下届出書により市長に届け出るものとする。

2 前項の規定による申請の取下げがあったときは、当該申請に係る助成金の交付決定はなかったものとみなす。

(変更承認等)

第9条 助成事業者は、助成金の交付決定を受けた事業(以下「助成事業」という。)について、事業内容を変更し、中止し、又は廃止しようとするときは、あらかじめ助成事業変更等承認申請書(様式第3号)により、市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 市長は、前項の申請があったときは、速やかにその内容を審査し、変更等の可否を決定し、所定の助成事業変更等承認(否認)通知書により当該申請をした助成事業者に通知するものとする。

(実績報告)

第10条 助成事業者は、助成事業が完了したときは、速やかに実績報告書(様式第4号)に、関係書類を添えて市長に報告しなければならない。

(助成金額の確定)

第11条 市長は、前条の報告があったときは、速やかにその内容を審査し、助成事業の成果が助成金の交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき助成金額を確定し、助成金額確定通知書(様式第5号)により助成事業者に通知するものとする。

(助成金の交付請求及び交付)

第12条 助成事業者は、前条に規定する助成金額の確定通知を受けたときは、助成金交付請求書(様式第6号)により市長に助成金の交付を請求するものとする。

2 市長は、前項の請求があったときは、速やかにその内容を審査し、適当と認めるときは、助成金を交付するものとする。

(助成金の概算払)

第13条 市長は、助成事業について必要があると認めるときは、助成金の概算払をすることができる。

2 助成事業者は、概算払を受けようとするときは、助成金概算払請求書(様式第7号)により、市長に

請求しなければならない。

(助成金の交付決定の取消し)

第14条 市長は、助成事業者が次の各号のいずれかに該当したときは、助成金の交付決定を取り消すことができる。

- (1) 偽りその他不正の手段により助成金の交付を受けたとき。
- (2) 規則第4条各号のいずれかに該当することとなったとき。
- (3) 助成金を助成事業の目的以外に使用したとき。
- (4) 助成事業の実施方法が不相当と認められるとき。
- (5) 助成事業を中止又は廃止したとき。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、助成金の交付決定の内容又はこれに付した条件その他この要綱に基づく命令に違反したとき。

2 前項の規定は、助成事業について交付すべき助成金額の確定があった後においても適用があるものとする。

3 市長は、第1項の規定による取消しをしたときは、所定の助成金交付決定取消通知書により、助成事業者に通知するものとする。

(助成金の返還)

第15条 市長は、前条第1項の規定に基づき助成金の交付決定を取り消した場合において、助成事業の当該取消しに係る部分に関し、既に助成金を交付しているときは、期限を定めて、その返還を命じなければならない。

2 市長は、助成事業者に交付すべき助成金額を確定した場合において、既にその額を超える助成金を交付しているときは、期限を定めて、当該確定した助成金との差額の返還を命じなければならない。

(調査等)

第16条 市長は、助成事業の適正な執行を確保するために必要な限度において、助成事業者に対し、書類の提出若しくは報告を求め、又は必要な調査をすることができる。

(整備保管)

第17条 助成事業者は、助成事業に係る帳簿及び関係書類を整備するとともに、助成事業の完了した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

(その他)

第18条 この要綱に定めるもののほか、助成金の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

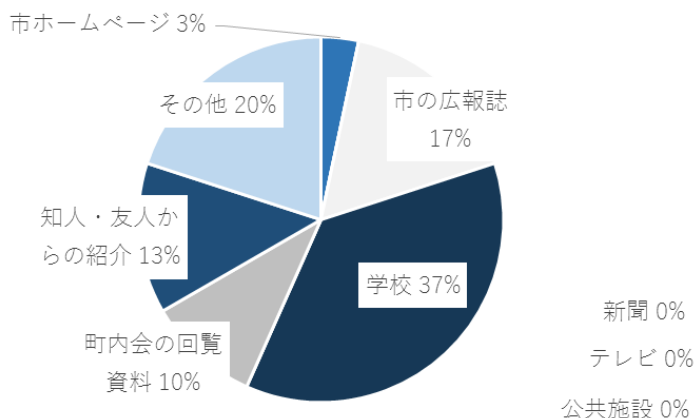
この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

令和元年度公開審査会 【一般来場者アンケート】

アンケート回答数：25人

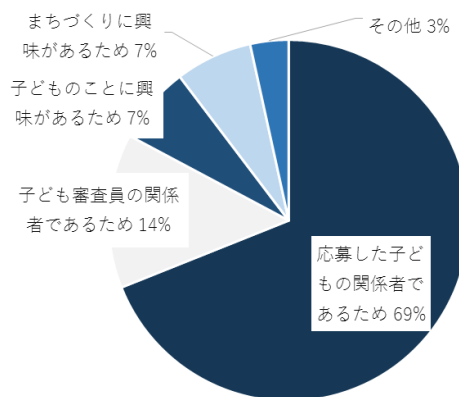
問1 公開審査会について何で（どこで）

知りましたか。



問2 公開審査会に来た目的は何ですか。

(複数回答可)



問3 こうち子どもファンドについてどのような印象を持ちましたか。

- ・今回は多くの参加者がいて、盛り上がった気がする。
- ・「はっ」とさせられる子ども達の発想がたくさんあり、学びの場であるという印象を持った。
- ・子どもが自主的に関わっている意義のある活動だと思う。
- ・初めて参加させて頂いたが、それぞれのグループが工夫を凝らした発表をされていて、感動した。
- ・子どもにこのような機会が与えられることはとても良いことだと思うので、今後も続けて欲しい。
- ・子ども達の自発的な考え方で進められるところが良い。
- ・先進的で良いと思う。
- ・子どもたちが子どもの目線で人の為を考え、自分たちが生活する地域の未来を想像して活動している。応援したい。
- ・たった3分のプレゼンの中に、伝えたい事ややりたい事など、それぞれのカラーを出しつつまとめられていて、とても良い制度だと思う。
- ・とてもよい活動。もっと広めてほしい。
- ・高知のことを本気で考えている子供達の多さにうれしく思う。
- ・若者の転出数減少のためになる取り組みであると思う。
- ・応募数の多いことに驚いた。

問4 本日の審査会進行について、何か改善したほうがいいと思うことはありましたか。

- ・団体数が増えたら、一団体の発表時間を増やすべき。
- ・スムーズな進行でテンポよく、会が進んでいったので良かったと思う。
- ・質疑応答のとき、参加団体側にマイクが回っておらず、聞こえないことがあった。
- ・公開審査だと反対意見が言いにくいのではないだろうか。
- ・時々聞こえづらいときがあったので、改善したほうがいいと思う。
- ・少し話が長い部分がある。

問5 こどもが審査に加わることをどう思いますか。

- ・自分のことのように考えると思うので、未来のまちづくりに良いと思う。
- ・とても良い。おもしろい。素晴らしいことだと思いました。
- ・こども審査員が色々と質問をしていたことに感心した。子どもならではの目線というか「これはどういうことかな？」と思ったことを発表や申請書を読んで質問していたので、すごいなと思った。
- ・子どもが考えた活動を大人だけで判断しないで、それを子どもに託す（判断してもらう）ことに意味があるのだと思いました。
- ・子供の目線で考え方も違うので、良い事だと思う。
- ・どちらの立場も真剣に考えるので、とても良いと思います。
- ・非常にするどい質問や大人では気付かない目線があった。
- ・子どもに考えさせ、事業を育てる楽しさや公平性などを学べるので、とても良い。
- ・小、中、高の色々な学年が入っていることで、各々の見方があると思うのでいいと思う。
- ・良いと思うが、もう少し質問の仕方を学ぶともっと良くなると思う。

問6 こどもファンドの制度や、本日の感想など自由にかいてください。

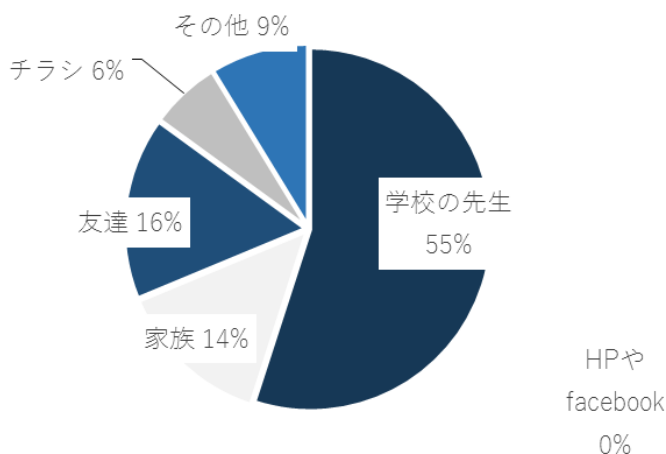
- ・どの応募グループも工夫されていてよかった。また、これから必要とされるプレゼン能力やプログラミング的な思考が鍛えられるなど、自分たちの夢が努力によって実現できることの喜びを与えることができ、とてもいい取り組みと感じた。
- ・こどもが主体となって考え、行動していけるようなプロジェクトに対して助成があることは、とても良いことだと思う。子どもが何かしたいと考えた時に、実施に向けて手が差し伸べられる制度があるということはとても心強く、未来に向けて希望が持てることだと思う。このような制度があることを私自身、恥ずかしながら詳しく知らなかったが、もっと沢山の人の知って頂きたいと思った。
- ・今後も継続してファンドを残して行ってほしい。
- ・土佐塾高校さんのこどもファンドを取材し、こどもファンドを通して高知を世界に発信する。この発想というか「コロンブスの卵」というか、すばらしい着眼点だと思った。

- ・支出内容について、もう少し具体化したほうが良いのではないか。
- ・終始、落ち着いた雰囲気良かった。
- ・子供達が本当に勉強になると思うので、これからも続けて欲しい。
- ・とてもよく考えられている制度だと思う。この活動がもっと広がる事に期待もあるが、参加チームがどこまで増えるのか・・・増えすぎる心配も少しある。
- ・高知市以外の市町村にも、同様の仕組みができればと思う。活動内容があいまいな団体には、助成額を減らす等があってもいいと思う。
- ・「地域のため」がすごく団体毎に出ていて、よいと思う。ただ、それが勝ってしまっているがゆえに、具体的なゴールや、地域にどのような良い点があるのかが薄いと思った。

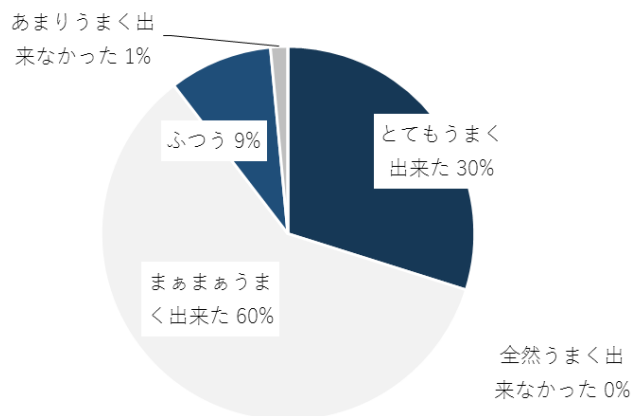
令和元年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：子ども）】

アンケート回答数：74人

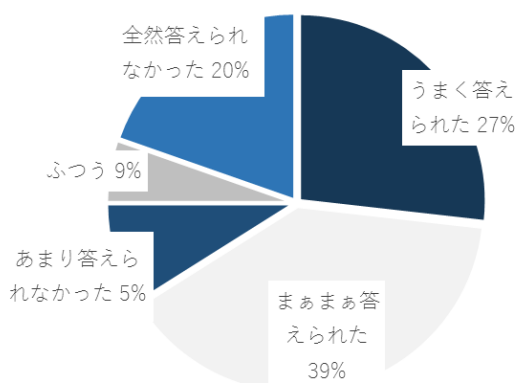
問1 こうちこどもファンドのことは
どうやって知りましたか。



問2 発表はうまくできましたか。



問3 審査員の質問にきちんと答えられましたか。

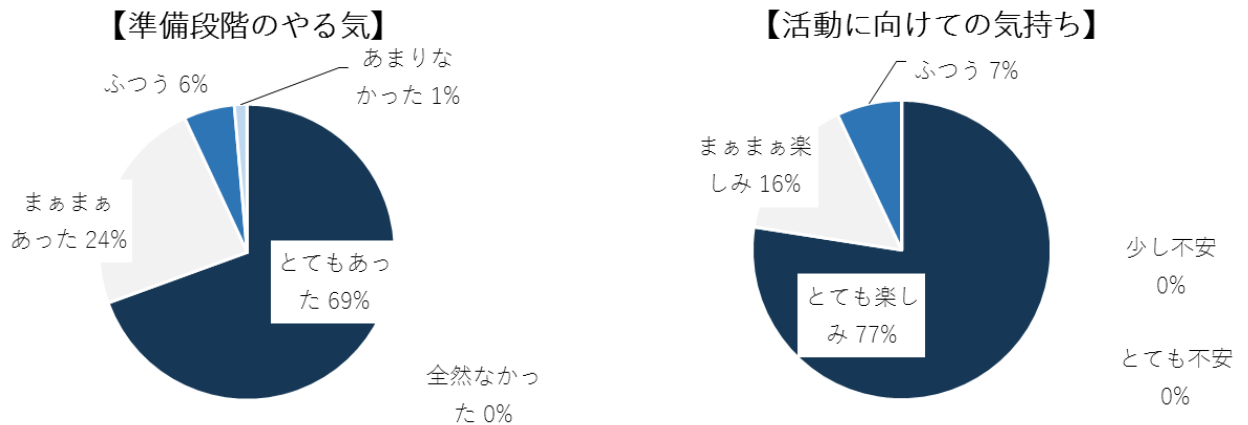


問4 他のグループの発表、質疑応答を聞いてどう思いましたか。

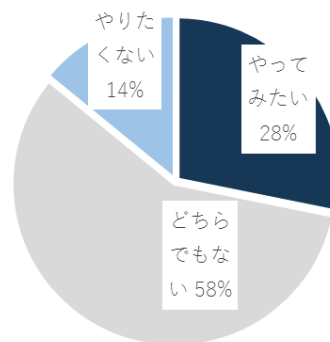
- ・高知を活性化させるために、いろんなことをしようとしているんだなあと思った。
- ・面白い発表が見れてよかった。最高だった。
- ・小学生がハキハキとした発表をされていて、とてもすごいなと思った。
- ・模造紙に自分たちで作っていて、すごいなと感じた。
- ・防災についての発表が多いと感じた。
- ・他の団体に比べて、自分たちは台本を見すぎていると思う。
- ・動画、音声を使った発表はとても分かりやすかった。
- ・太平洋学園は、質問をされたら丁寧に返していたので分かりやすかった。

- ・おおつっ子は、劇や看板を使って危ない場所を取り入れるという工夫がいいと思った。
- ・質問への答え方がハキハキとしていて、マネしたいと思った（ふんわりシスターズ）。発表がわかりやすかったし、おもしろかった(Juvenile)。いろんな取り組みをされていてすごいと思った(太平洋学園)。
- ・Juvenile は、侍や少し英語で発表していたので面白かった。
- ・継続して助成申請する団体もあるんだなと思った。
- ・みんなしっかり目的を決めて、質問もきちんと答えられていた。
- ・難しい質問に答えられていて、すごいと思った。特に Village Jamboree が分かりやすかった。
- ・質問をされたことで気づくこともあると思った。
- ・土佐山宣隊 6 ネンジャーさんのように、模造紙にまとめるのが良い。
- ・音楽を取り入れているチームもあり、真似したいと感じた。
- ・こども審査員がとてもの得た質問をしていて、呆気にとられた。
- ・どのグループも地域や県を大事にし、そのために活動を行っているということがわかり、そのような活動を行っているグループや団体を知れて良かったです。
- ・発表の工夫をとして動画を流したり、劇をしたり、表を用いるなど、自分達もそれらを取り入れて発表したら、もっと相手に伝わりそうだなと思いました。応答するときは、事前に質問の内容を考えてすぐ対応できていることがすごいなと思いました。今日見たプレゼンテーションを真似させてもらい、活かしていきたいです。
- ・どのグループも自分達の力で高知県を良くしたい、もっとここの魅力を伝えたいという熱意が感じられるものでとてもよかった。
- ・自分達がしようとしていることと、プラスでした方がいいのではないかと思うこともあり、自分達の活動にどんどん活かしていきたいと思った。
- ・ずれた発言があったりして、腑に落ちない面もあった。発表中に発表に関係ないことで失笑していたのが目立った。
- ・それぞれが高知を良くしたいという思いをもっていてすごいなと思った。私達はまだ地区のことしか考えられていないと思ったので、地区での活動を県に広めていきたいと思った。また、高知とさじゅく広報部のように、活動団体同士で繋がるということも大切なのかなと思った。
- ・調査やインターネットから実際のデータをプレゼンテーションにのせればよかった。
- ・質疑応答の際、返答が思ったよりシンプルなもので良いことに驚いた。
- ・とても良く出来ている所もあったし、年少の子供たちも頑張って発表していたのでよかった。
- ・皆、息がそろっていて活動内容も良く分かった。

問5 「審査会発表に向けて準備をしているときのやる気」、「プレゼンテーション後、活動に向けての気持ち」として当てはまるものはどれですか。



問6 こども審査員をやってみたいと思いますか。「やってみたい」または「やりたくない」を選んだ方は、その理由もお書きください。



【やってみたい理由】

- ・他の子どもたちが高知をよくするために、どんなことをしようとしているか知りたいと思ったから。
- ・いっぱい質問をしてみたい、面白そうだったから。
- ・審査員をしている人たちが楽しそうだから。
- ・いろんなグループの発表形式が見られるので、自分の発表に役立てられるから。また、いろいろな発想を得られるから。
- ・ステージの上で「プレゼンテーション」をしている方々の本気を引きだしてみたい。
- ・そのグループがどう思っているか、質問に対してどう答えるか、勉強になるし知りたいから。
- ・こども審査員たちの判断で、高知をよりよくできるから。
- ・質問のしかたなどを詳しく学ぶことができそうだから。校内でのプレゼン・発表の際などにその経験を活かすことができそうだから。
- ・高知市のこどもたちの活動をもっと知り、高知市の未来を発展させていきたいから。また、高知市だけでなく、高知県・四国・日本・世界を繋げたいから。

【どちらでもない理由】

- ・参加して、自分が活動するのも楽しいし、他のチームも見たいと思ったので、どちらもやってみたいです。
- ・他校の仲間達と「一人の審査員」として参加できるのは、とても挑戦的で面白いと思った。しかし、自分としては「審査側」でなく「企画」の方がやりたいので、ぜひ来年も応募させていただきたい。
- ・自分は発表する側としてこれからもっとプレゼンテーションを行っていききたいし、こういった審査員を行う時は、プレゼンテーションで人に伝えるのができてきた時だと思うから。
- ・審査員として発表の審査を行うのも良いが、提案者として毎年自分の考えた高知市をより良くする方法を発表していきたい。
- ・やるからにはやるけど、自分にできるか不安だから。

【やりたくない理由】

- ・みんなで協力して発表したりして、他の大人の人達を誘ったり、みんなで学んだことを発表したいから。
- ・自分にはそんなことができない。だからみんなすごいと思う。
- ・質問をするのが苦手だから。
- ・卒業するので。
- ・判断が難しそうだから。

問7 そのほか、審査会やこどもファンドについて、もっとこうしてほしいことや、これからの活動の意気込みなど自由に書いてください。

- ・高知をもっと良くしたい、もっとこうなったらいいなという思いが集まったこのこどもファンドをもっと広報で広められたらいいんじゃないかと思う。審査に通ったので、一生懸命やっていきたい。
- ・高知県には、南海地震や知名度が低いなどの課題がたくさんあると思う。今日、この審査会を通して、高知県の子どもがそれらの課題解決のために努力していることを知れて、とても嬉しかった。
- ・こどもファンドの審査会で、他のグループの発表を見られるのは嬉しいものの、かなりの時間がかかるプロジェクトなので、質疑応答は事前に行ってほしい。
- ・ぼくはがんばります！星空観察が楽しみ。(もちろん保存食も)。
- ・土佐山、有名にするぞ～！
- ・もし助成されなければどうするのかといった予想外の質問もくるので、対策が必要だと思った。
- ・審査会の皆さんが「プレゼンテーションお疲れさまです」と言って下さり、安心した。こどもファンドは、高知の未来がよくなるように活動する団体の存在ごと知れるので、続けてほしい。私たちは土佐山のことが大好きで、有名にしたいと強く思っています。本当にありがとうございました。

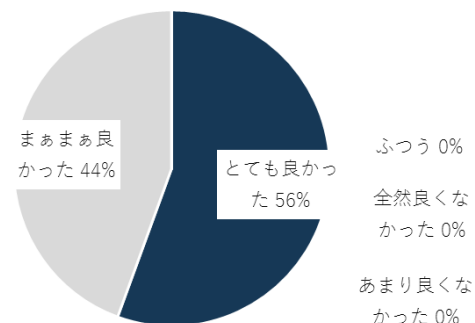
- ・もう少しプレゼンの時間を増やして欲しい。
- ・中学生になったので、大人に頼らず、自分たちでできることを積極的にしたい。
- ・できれば、審査のポイントを公開審査会より前に教えていただくと、チーム内でプレゼンテーションの準備が進めやすい。
- ・審査会に Apple TV を設置してほしい。タブレットを使って発表したい団体もあると思うので。
- ・結果の表が見づらいので、写真をとってプロジェクターに写してほしい。
- ・わざわざ移動するのが大変だと思うので、それぞれのチームにマイクを準備してほしい。
- ・高知市だけでなく、高知県内にもこどもファンドを知ってもらい、市外のこどもたちにも参加してほしい。
- ・字幕を表すスクリーンは文字が小さくて見えない人もいるかもしれないので、大きくしてほしい。
- ・限りある時間のため仕方がないと思いますが、もう少しだけ発表時間を伸ばしてほしい。
- ・質問の数が増えると思うので、こどもの審査員をもう少し増やしたらいいと思う。
- ・私たちの活動は最終的に地域の繋がりに関心を持ってもらう。また、南海トラフ地震の際、地域同士の繋がりを活かし、助け合ってほしいというものだ。南海トラフ地震は必ずやってくる。またいつやってくるか分からないので、私達は絶対にこの活動を行いたい。よろしくお願いします。
- ・今回は人数が多かったというのもあるかもしれませんが、団体ごとに座るときに後ろの人とよくイスが当たるし、スペースが狭いように感じた。
- ・会場の時計がずれているので、直してほしいと思った。リハは各自でやっておくということでもいいと思う。公開協議のときの投票のところが字が小さく見にくかった。
- ・今年は昨年に比べて2倍の参加チーム数になり、こどもファンドの活動は大きくなったものの、一般の生徒はあまりこのファンドの存在を認知していないので、もっと知ってもらうようにすると良いと思う。
- ・こどもファンドの審査会により、他の予定を行うことができなくなるので、早く帰れるようにして欲しい。受験の面接のような形で発表し、終了すると発表者は帰り、結果はインターネットや手紙を使って発表するのがいいと思う。
- ・他の団体の人たちの発表を見ることができるのだから、ただ聞くだけでなく、見ている団体の人も質問できると良いなと思った。他の団体の発表を「見るだけ」で終わるであれば、「なるほど」という思いしか得られないので、発表がおわった後、会場に残る意味がないと思う。なので、各学校のプレゼン内容をまとめた用紙を配布してもらえればメモなどして自分の活動にも活かせるし、今のままでは発表は審査員の方と団体との間だけで終わっていると思うので、会場全体が参加できる仕組みをつくれれば良いと思った。みんなの高知への愛が伝わる、ステキな発表会でした。
- ・最優先で頑張っていきます。

令和元年度公開審査会 【応募団体向けアンケート（対象：大人サポーター）】

回答数 11人

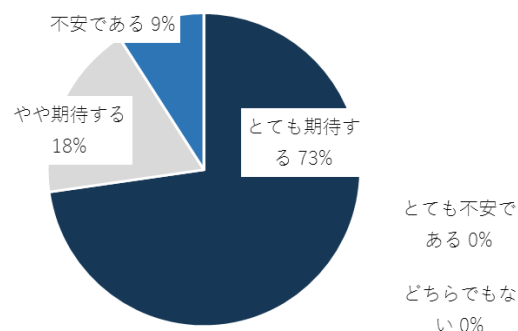
問1 審査会の進め方はどうでしたか。

- ・リハーサルの時間が長かった。
- ・発表内容についての質問は、ファン参加者からもプラスであつても良いのかなと思つた。
- ・発表と質疑の時間配分がとても良かった。
- ・子どもたちが自分で質問を考えてきちんとやりとりしているのがいい。
- ・子ども審査員の質問が鋭く、大変よい。
- ・協議のプロセスの透明性が高い。
- ・審査表の見方あるいは表そのものが冊子に入っていればよかった。
- ・3つの観点ごとにポイント制にすると一目見てわかるし、各チームも自分たちの弱点がよりハッキリと理解できるかと思つました。
- ・リハーサル後の待ち時間が長いので、開始時間を13:00など早めてもらえるとありがたい。
- ・公開協議の質問がプレゼンの後と重なるものも多く、回答の質が変わらないと思うので、分けてほしい。
- ・各団体のしっかりとしたプレゼンができていた。
- ・工夫点が見られ説得力があつた。
- ・審査員による公開協議も公正で良かった。



問2 これから子どもたちが進める活動について、今どのように思いますか。

- ・卯月先生の仰っていたように、たくさんの方に活動をしてもらい、盛り上げていきたいと思う。
- ・防災を通して地域と繋がることで地区の活性化につながり、生徒たちの地域の一員である自覚がうまれると思う。
- ・とても活動が楽しみ。子どもたちと楽しみながら、取り組んでいきたい。
- ・どの活動も地域のために子どもたちが頑張ってくれるんだろうなと感心した。



問3 子どもがまちづくりに関わることで、自分の行動や意識にどのような変化があると思いますか。

- ・自分の住んでいる地域をはじめ、自分たちの身のまわりで起こることを自分のこととして捉えることができるようになること、大人が行動を起こすことを待たずに自分から変化を起こした働きかけができることを体感できたら、責任感や自己肯定感も芽生えると考えます。
- ・まちづくりにはたくさんの人の協力が必要で、自分たちもその一員であることを自覚できる良い機会になると思う。
- ・子どもが自分達で考えることが大切なので、楽しい事や防災について学びながら取り組めることで成長できると思う。
- ・まちづくりに参加することで、地域にさらに愛着がわき、大人になってもまちづくりに積極的に参加し続けると思う。
- ・自主性ではなく、主体性を取得すると考えられる。
- ・学校外のコミュニティ、大人と関わることで社会性やコミュニケーションの力が高まると思う。
- ・自分のことだけでなく周りをみて行動する力が養われる。
- ・地域と繋がることによって、いざという時のコミュニケーション力にも繋がる。
- ・子どもが地域を知り、地域の大人と関わり学び発信することによって、地域の大人もその良さに気づき、元気になる。「頑張ってるね、子どもたち」と言ってもらい、子どももまたやる気が持て、地域を好きになる。

問4 本日の審査会や「こどもファンド」の制度に関して、もっとこうして欲しいという点や、お気づきになった点があればお書きください。

- ・本日は休日にも関わらず、会の運営等ありがとうございました。
- ・助成金の扱い方については、事前に詳細な説明がほしいと思った。
- ・活動は継続性も必要だと思う。継続して応募・参加している団体が多いと感じた。一方で、こどもファンドに参加する新しい団体が増えることも必要かなと思った。
- ・審査基準の3点が当日公表されたが、要項時点で明らかになっていると計画に反映しやすい。
- ・スタートが7月からになってしまうので、早く活動出来ると良いと思う。
- ・経済的持続性、収益という考え方が足りないのではないかと？貴重な市の予算を市中に還元するだけでなく、持続性のある経済的な観点が要るのではないだろうか。そうでないと、最大20万円の予算を使い切った時に活動が終了してしまう。よい取り組みは自立かつ継続が大事だと思う。
- ・スクリーンをもう少し右端の壁に寄せていただくと、ステージで発表する右端の子どもが見えやすくなると思った。
- ・質疑応答で答える時にも、マイクがあると分かりやすい。
- ・子ども、地域と協力して地域を盛り上げていきたいと思う。どうぞよろしく申し上げます。

【発行】

高知市 市民協働部 地域コミュニティ推進課

〒780-8571 高知市鷹匠町2丁目1-43

TEL / 088-823-9080

FAX / 088-824-9794

<令和元年8月発行>

こうちこどもファンドへご寄附をいただいた皆さま

令和元年8月1日時点

企業・団体（50音順）	寄附年度
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（ゆにぞんスマイルクラブ）	H30
I D E A L 設計 様	H30
一般財団法人高銀地域経済振興財団 様	H26
伊東電気有限会社 様	H30
医療法人仁栄会 島津病院 様	H25
和建设株式会社 様	H25
株式会社オーエス・エンジニアリング 様	H30
株式会社片岡電気工事 様	H24
株式会社岸之上工務店 様	H25
株式会社公職研 様	H25
株式会社高知タマモ 様	H24
株式会社高知ビーフ 様	H30
株式会社高南メディカル 様	H30
株式会社四国清掃工業 様	H24・26・28・29・30
株式会社四国相互手形センター 様	H25
株式会社四国ポンプセンター 様	H24
株式会社シンゲン 様	H30
株式会社シンテック 様	H24
株式会社西部技研 様	H30
株式会社セイミツ 様	H24
株式会社総合企画設計 様	H30
株式会社双電社 様	H24
株式会社タカチ測建 様	H30
株式会社永野基礎 様	H30
株式会社豊栄電気工事 様	H27
株式会社松井ビル 様	H24・25
株式会社若竹まちづくり研究所 様	H30
紀和工業株式会社 様	H30
構管技術コンサルタント株式会社 様	H30
高知黒潮ライオンズクラブ 様	H25・26
高知市職員労働組合 様	H24
高知市まちづくり未来塾 様	H26
高知市旅館ホテル協同組合 様	H24
高知スタンダード石油株式会社 様	H24
高知県青年読売会 様	H26
高知南ライオンズクラブ 様	H24
高知民謡クラブ 様	H26
高知緑化建設株式会社 様	H30
国際ロータリー第2670地区 様	H25
三愛石油カスタマーサービス株式会社 様	H25・26・27・28・29・30、R1
三共工業有限会社 様	H24
昭栄設備工業株式会社 様	H30
太平産業株式会社 様	H24・28
東京テクニカサービス株式会社 トコモショップ愛宕店 様	H24・25・26
特定非営利活動法人こうち高齢者福祉事業団 様	H30
特定非営利活動法人高知市こども劇場 土佐チル 様	H30
西村商工株式会社 様	H24
パシフィックソフトウェア開発株式会社 様	H24
福留開発株式会社 様	H24・30
丸仁商事株式会社 様	H24
有限会社大石電機 様	H24・25・28
有限会社寿運送	R1
有限会社田部興業 様	H30
有限会社舞高電設 様	H30
有限会社ヨシコー建設 様	H30
有限会社ルート設計事務所 様	H30
よこせと・まちづくり市民会議 様	H26
読売センター高知長浜 様	H26
依光内科クリニック 様	H25
ほか4社	

個人（50音順）	寄附年度
梶原 太一 様	H26・30
田所 伸雄 様	H24
久川 憲四郎 様	H25・27・28・29・30、R1
山本 吾一 様	H27
ほか6名	

多くの善意をお寄せいただき、ありがとうございます。